MITSUBISHI

三菱電機 ビル 空調管理システム

集中コントローラ
G-150AD
GB-50AD

取扱説明書（Webブラウザ操作編（管理者用））

もくじ　　ページ

1 はじめに …… 2
1-1 本書の表記について …… 2
1-2 動作環境 …… 2
1-3 統合ソフト（TG-2000）を利用している場合の注意点 …… 2
2 パソコンの環境設定 …… 3
2-1 パソコンのIPアドレスを設定する …… 3
2-2 Webブラウザを設定する …… 5
2-2-1 インターネット接続環境の無い場合 …… 5
2-2-2 ダイヤルアップ接続環境がある場合 …… 5
2-2-3 プロキシサーバー経由での接続環境がある場合（既設LANを利用する場合） …… 6
2-3 Java実行環境の設定をする …… 7
2-3-1 次世代のJava Plug-inを無効に設定する …… 7
3 操作方法 …… 8
3-1 G-150ADにログインする …… 8
3-1-1 G-150ADにログインする …… 8
3-1-2 通信データを暗号化してG-150ADにログインする …… 10
3-2 空調機・換気機器・汎用機器の運転状態を確認する …… 12
3-2-1 全グループ一覧／フロアレイアウトで運転状態を確認する …… 12
3-2-2 ブロック別にグループの運転状態を確認する …… 16
3-3 空調機・換気機器・汎用機器の操作を行う …… 17
3-3-1 グループ単位で操作する …… 17
3-3-2 ブロック一括で操作する …… 22
3-3-3 全グループ一括で操作する …… 22
3-4 計測状態を確認する …… 23
3-4-1 計測値を一覧で確認する …… 23
3-4-2 計測値をグラフで確認する …… 24
3-5 異常発生中ユニットの一覧を確認する …… 26
3-6 フィルターサイン発生中ユニットの一覧を確認する …… 28
3-7 スケジュールを設定する …… 29
3-7-1 週間スケジュールを設定する …… 31
3-7-2 年間スケジュールを設定する …… 36
3-7-3 当日スケジュールを変更する …… 38
3-8 異常履歴を確認する …… 40
3-9 現在日時を設定する …… 41
3-10 ユーザーを登録する …… 42
3-11 異常通報メールの送信履歴を確認する …… 44
3-12 緊急停止を解除する …… 45
4 オプション機能のライセンス登録 …… 47

ご使用の前に，この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

この製品は日本国内向けに設計されており、本紙に記載の内容は日本国内においてのみ有効です。
また、海外でのアフターサービスも受けかねますのでご了承ください。
This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

1 はじめに

三菱電機㈱製［集中コントローラ G-150AD］，［集中コントローラ GB-50AD］は，LAN で接続されたパソコンの Web ブラウザから空調機の状態監視，操作を行うことができます。

本書では，集中コントローラ G-150AD・集中コントローラ GB-50AD の状態監視・操作を Web ブラウザから行う手順について説明します。各種設定は Web ブラウザ初期設定編をご覧下さい。

以降の説明では特に記載の無い限り，集中コントローラ G-150AD・集中コントローラ GB-50AD のことを［G-150AD］と表記します。

※G-150AD をインターネット等の外部と接続するときは，VPN ルータ等の機器を接続し，セキュリティを必ず確保してください。

※GB-50ADには拡張コントローラー（PAC-YG50EC）を接続できません。

※GB-50ADの場合は，拡張コントローラーに係わる表示はされません。また，設定もできません。

1-1 本書の表記について

・ボタン，フォルダ等にマウスのカーソルを合わせ，マウスの左ボタンを１回押して離す動作を［クリック］と表記しています。

・本書で使用している画面は，特に記載の無い限り，Windows®XP，Internet Explorer 6.0 における画面となっております。

※Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1-2 動作環境

Web ブラウザにて空調機の監視，操作を行う場合，パソコンに下記環境が必要となります。

表 1-1　動作環境

項　目	内　容
CPU	Pentium 300MHz 以上
メモリ	64MByte 以上（128MByte 以上推奨）
画面解像度	推奨 1024×768 以上
対応ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Microsoft® Internet Explorer 7.0 Microsoft® Internet Explorer 8.0 Microsoft® Internet Explorer 9.0 Microsoft® Internet Explorer 10.0 ※Java® 実行環境(Oracle®社製Java Plug-in)が必要となります。 Oracle®社製Java Plug-in Ver.1.6.0_02～Ver1.6.0_33, Ver1.7.0_07,09,17 で動作確認しています。 ※Oracle 社製Java Plug-in のバージョンは，コントロールパネル内の“Java”にて確認できます。 ※Oracle 社製Java Plug-inはお使いのオペレーティングシステムに適したものをインストールして下さい。Internet Explorer(64bit)をご使用の場合はJava Plug-in(64bit)をインストールして下さい。 ※Oracle 社製 Java Plug-in Ver.1.6.0_10 以降の場合，「2-3 Java 実行環境の設定をする」を行なって下さい。
内蔵 LAN ポート または LAN カード	1 個 （100BASE-TX）
その他	マウスなどのポインティングデバイス

※Microsoft は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Oracle と Java は米国 Oracle Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

1-3 統合ソフト(TG-2000)を利用している場合の注意点

統合ソフト（以下 TG-2000）が接続されているシステムの場合，TG-2000 と G-150AD の保持データが一致するよう，設定および変更は TG-2000 から行ってください。

※微弱風量ありのロスナイを接続する場合，週間スケジュールを 3～5 種類使用する場合は，TG-2000 Ver.6.39 以降を使用してください。

2 パソコンの環境設定

ここでは Web ブラウザで空調機の監視，操作を行うためのパソコンの設定，および Web ブラウザの設定について説明します。

2-1 パソコンの IP アドレスを設定する

G-150AD に Web ブラウザで接続できるようにパソコンの IP アドレスを設定します。例えば G-150AD の IP アドレスが[192.168.1.1]の場合，パソコンには同一系統の IP アドレス（［192.168.1.101］等）を設定します。

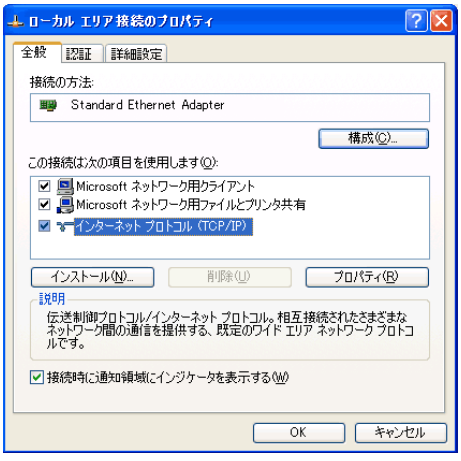
なお，G-150AD を既設 LAN に接続している場合は，LAN 管理者の指定した IP アドレスを設定してください。

※G-150AD 専用 LAN の場合，G-150AD 本体の IP アドレスは［192.168.1.1］～［192.168.1.40］，G-150AD と接続するパソコンの IP アドレスは［192.168.1.101］～［192.168.1.150］の間で設定することを推奨しています。

(1)[スタート]－[コントロールパネル]を選択してクリックし，コントロールパネルを開きます。

(2)コントロールパネル画面で，[ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックするとネットワーク接続画面が表示されますので，[ローカルエリア接続]をダブルクリックして[ローカルエリア接続状態]画面を開き，[プロパティ]をクリックします。

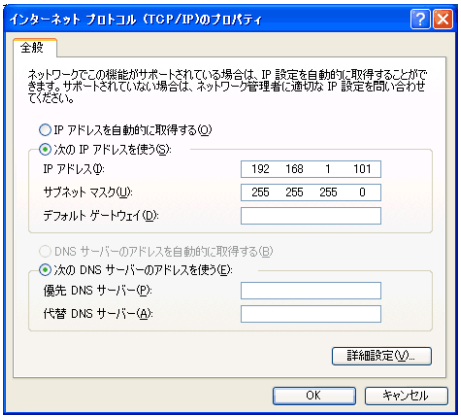
(3)[ローカルエリア接続のプロパティ]画面で[インターネットプロトコル]をクリックして選択し，[プロパティ]ボタンをクリックします。



⑷IP アドレスの設定画面で，[次の IP アドレスを使う]をクリックして選択し，IP アドレス欄に設定したい IP アドレス（[192.168.1.101]等）を入力します。
サブネットマスクには通常[255.255.255.0]を設定します。

※設定するIPアドレス，サブネットマスクはLAN管理者にご確認ください。

⑸[OK]ボタンをクリックしてこの画面を閉じ，他の開いた画面も閉じてネットワークの設定を完了します。



2-2 Web ブラウザを設定する

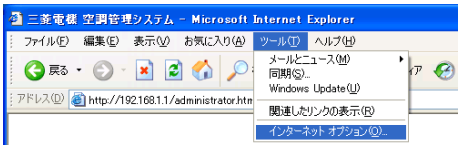
G-150AD に Web ブラウザで接続できるように Web ブラウザの設定を行います。

※設定例および画面例は Internet Explorer 6.0 を用いています。

2-2-1 インターネット接続環境の無い場合

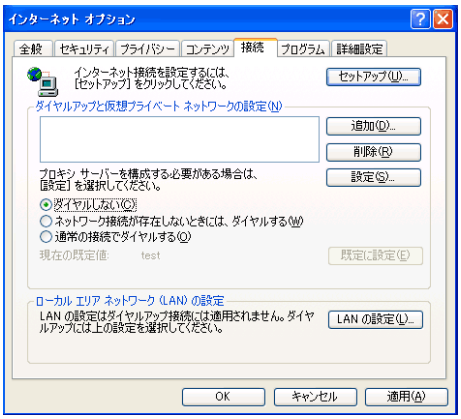
インターネット環境の無いパソコンを，空調機の監視，操作用に用いる場合は，以下の手順で Web ブラウザの環境設定を行います。

(1)Web ブラウザの[ツール]－[インターネットオプション]を選択してクリックします。



(2)[インターネットオプション]画面で，[接続]タブをクリックして，接続設定画面に入ります。

(3)ダイヤルアップの設定部の［ダイヤルしない］を選択し，[OK]ボタンをクリックして設定を完了します。

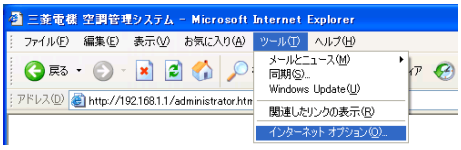


2-2-2 ダイヤルアップ接続環境がある場合

ダイヤルアップにてインターネットと接続する環境のパソコンを，空調機の監視，操作用に用いる場合は，以下の手順で Web ブラウザの環境設定を行います。

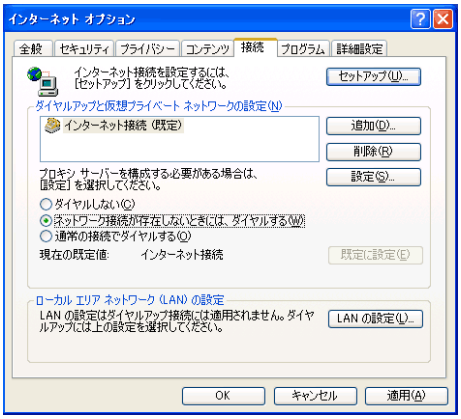
この設定を行うと，インターネットへの接続が必要な場合にダイヤルアップ接続するかどうかのメッセージが表示されます。インターネットへ接続したい場合はメッセージに従って接続してください。

(1)Web ブラウザの[ツール]－[インターネットオプション]を選択してクリックします。



(2)[インターネットオプション]画面で，[接続]タブをクリックして，接続設定画面に入ります。

(3)ダイヤルアップの設定部の［ネットワーク接続が存在しないときには，ダイヤルする］を選択し，[OK]ボタンをクリックして設定を完了します。

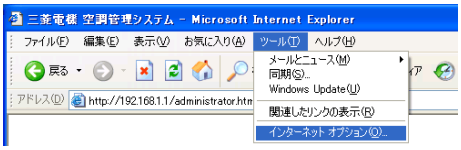


2-2-3 プロキシサーバー経由での接続環境がある場合（既設 LAN を利用する場合）

社内 LAN 等の既設 LAN に接続し，プロキシサーバー経由でインターネットと接続する環境のパソコンを，空調機の監視，操作用に用いる場合は，以下の手順で Web ブラウザの環境設定を行います。

この設定を行うと，インターネットと接続するときだけプロキシサーバー経由で接続されます。

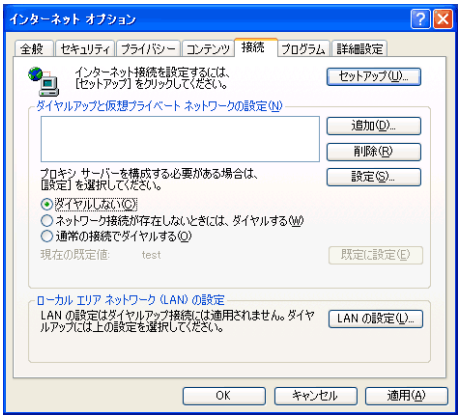
⑴Web ブラウザの[ツール]－[インターネットオプション]を選択してクリックします。



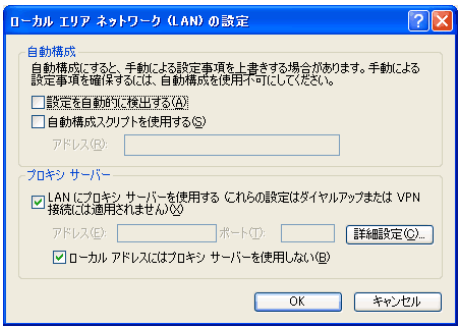
⑵[インターネットオプション]画面で，[接続]タブをクリックして，接続設定画面に入ります。

⑶ダイヤルアップの設定部の［ダイヤルしない］を選択します。

⑷[LAN の設定]ボタンをクリックして，LAN の設定画面に入ります。

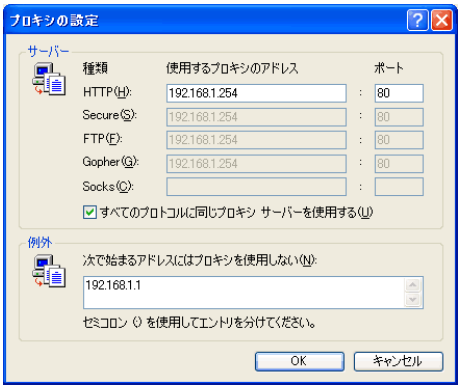


⑸LAN の設定画面で［ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない］を選択し，［詳細設定］ボタンをクリックします。



⑹プロキシの設定画面の例外欄に，接続する G-150AD の IP アドレス（192.168.1.1 等）を入力し，[OK]ボタンをクリックしてこの画面を閉じ，他の開いた画面も閉じて設定を完了します。

なお，複数の G-150AD を接続する場合は，[192.168.1.1；192.168.1.2]のように複数の IP アドレスを指定しても良いのですが，アスタリスク(*)を利用して[192.168.1.*]と指定することも可能です。

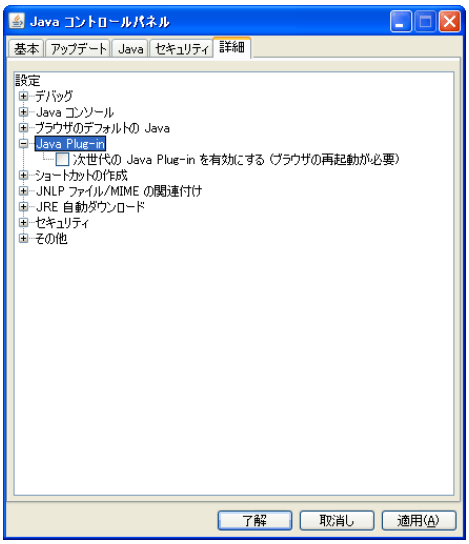


2-3 Java実行環境の設定をする

Java Plug-in バージョン 1.6.0_10 以降を使用している場合，以下の実行環境の設定を行ってください。
バージョン 1.6.0_０９以前の場合は設定は不要です。

※設定例および画面例は Java Plug-in バージョン 1.6.0_15 を用いています。

2-3-1 次世代の Java Plug-in を無効に設定する



(1) コントロールパネルの Java をダブルクリックし Java コントロールパネルを開きます。

(2) [Java コントロールパネル]画面で，[詳細]タブ-[Java Plug-in]を選択し，「次世代の Java Plug-in を有効にする（ブラウザの再起動が必要）」をクリックして，チェックを外してください。

※使用環境によりチェックが外せない場合があります。その場合は，
Java Plug-in バージョン 1.6.0_30 以降にバージョンアップしてください。

※Java のバージョンアップを行われた場合，再度，この設定を行ってください。

3 操作方法

ここでは，G-150AD との接続方法，および空調機の状態監視，操作の方法について説明します。

※停電等で G-150AD が再起動した場合は，本体の画面が通常操作画面になってから Web ブラウザでアクセスしてください(通常画面が表示されるまで数分かかります)。再起動の途中でアクセスすると，最新のデータが表示されない，通信ができない等の現象が発生する場合があります。

※G-150AD の IP アドレスの初期値は 192.168.1.1 となります（工場出荷時）

3-1 G-150AD にログインする

3-1-1 G-150AD にログインする

(1)Web ブラウザのアドレス欄に Web ページアドレスを入力し，キーボードの[Enter](リターン)キーを押すと，ログイン画面が表示されます。

http://[G-150AD の IP アドレス]/administrator.html

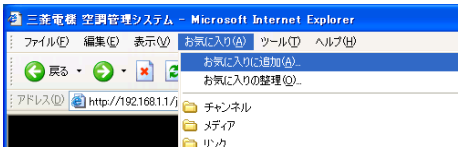
※例えば G-150AD の IP アドレスが[192.168.1.1]の場合，Web ページアドレスは，http://192.168.1.1/administrator.html となります。

※ログイン画面が表示されない場合，下記の手順で一時ファイルを削除していただくことで解決する場合があります。

インターネットエクスプローラー
「ツール」→「インターネットオプション」→「全般」タブ→「インターネット一時ファイル」→「ファイルの削除」により，一時ファイルを削除してください。

Java
「コントロールパネル」→「Java」をクリック→「Java コントロールパネル」→「基本」タブ→「インターネット一時ファイル」→「設定」→「ファイルの削除」により，一時ファイルを削除してください。

(2)次回から簡単に接続できるよう，ブラウザの[お気に入り]-[お気に入りに追加]を選択し，お気に入りに追加を行います。一度お気に入りに登録しておくと，次回からはお気に入りのメニューから選択するだけで G-150AD の画面が表示されますので，(1)のアドレスを入力する必要がなくなります。



⑶ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し，[ログイン]ボタンをクリックすると，運転状態の監視画面へと移ります。通常の操作画面については，次章以降で操作方法を説明していきます。
一般ユーザー用，管理者用の Web ページアドレス，ユーザー名，パスワードの初期値，利用可能機能は以下のようになります。空調機の操作のみを行う一般ユーザーがいる場合は，適宜，Web ページアドレス，ユーザー名，パスワードを公開し，利用してください。

対象ユーザー	Web ページアドレス	ユーザー名 初期値	パスワード 初期値	利用可能機能	
管理者 ユーザー	http://[G-150AD の IP アドレス]/administrator.html	administrator	admin	運転状態のモニタ／操作	運転状態モニタ／操作 計測状態のモニタ 異常発生中ユニット ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ発生中ユニット
				スケジュール設定	当日スケジュール変更 週間スケジュール設定１ 週間スケジュール設定２ 週間スケジュール設定３ 週間スケジュール設定４ 週間スケジュール設定５ 年間スケジュール設定
				異常履歴のモニタ	ユニット異常 通信異常
				システム設定	現在時刻の設定 ユーザー登録
				メンテナンス	異常メール送信履歴
一般ユーザー	http://[G-150AD の IP アドレス]/index.html	guest	guest	運転状態のモニタ／操作	運転状態モニタ／操作

※一般ユーザーは最大５０個登録可能で，各ユーザーに操作可能な空調機を割り当てることができます。
※管理者ユーザー以外の方が操作を行わないよう，ユーザー名，パスワードを初期値から変更して運用することをお奨めします。
※Web ページは，利用しているパソコンと同一の言語にて表示されますが，下記 Web ページアドレスを入力することにより，他の言語で Web ページを表示することも可能です。

イタリア語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**it**/administrator.html
英語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**en**/administrator.html
スペイン語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**es**/administrator.html
中国語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**zh**/administrator.html
ドイツ語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**de**/administrator.html
日本語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**ja**/administrator.html
フランス語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**fr**/administrator.html
ポルトガル語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**pt**/administrator.html
ロシア語　：http://[G-150AD のＩＰアドレス]/**ru**/administrator.html

※上記は管理者ユーザー用のアドレスです。一般ユーザー用は［administrator.html］を［index.html］に読み替えてご利用ください。

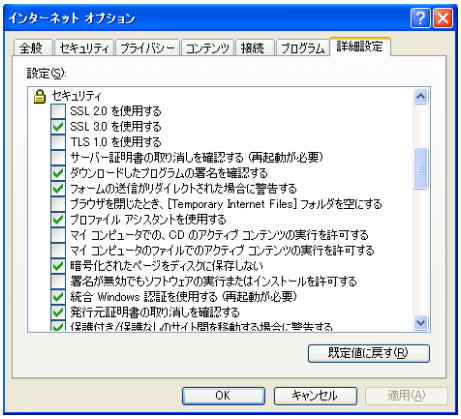
3-1-2 通信データを暗号化して G-150AD にログインする

本機は HTTPS（SSL）方式を利用して通信データを暗号化することができます。

不特定多数のユーザーが接続された LAN に本機を接続する場合は，以下の設定を行って暗号化された Web ページにて監視，制御を行うことを推奨いたします。

※HTTPS による暗号化通信はパソコンの OS や Java のバージョン等により正常に接続できない場合があります。接続できない場合は前項の HTTP 接続にて監視，制御を行ってください。

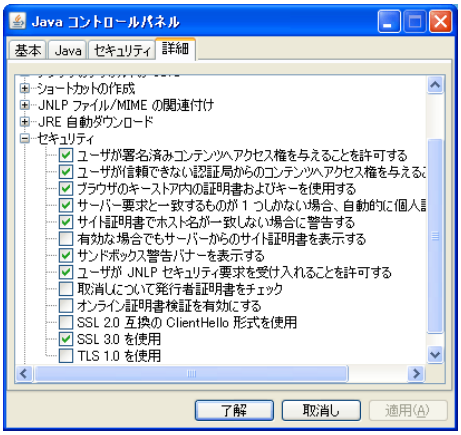
(1)Web ブラウザの[ツール]－[インターネットオプション]－[詳細設定]ページで下記設定を行います。



項 目	設定内容
SSL 2.0 を使用する	チェックを外す
SSL 3.0 を使用する	チェックする
TLS 1.0 を使用する	チェックを外す
暗号化されたページをディスクに保存しない	チェックする

※Web ブラウザのバージョンにより設定項目名称が異なる場合があります。

(2)コントロールパネルの[Java]を開き，[詳細]ページの[セキュリティ]項で下記設定を行います。



項 目	設定内容
SSL 2.0 互換の Client Hello 形式を使用	チェックを外す
SSL 3.0 を使用	チェックする
TLS 1.0 を使用	チェックを外す

※Java のバージョンにより設定項目名称が異なる場合があります。

(3)Web ブラウザのアドレス欄の先頭部分を[https]として Web ページアドレスを入力し，キーボードの[Enter](リターン)キーを押します。

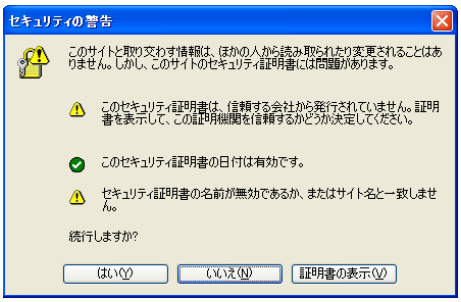
https://[G-150AD の IP アドレス]/administrator.html

※例えば G-150AD の IP アドレスが[192.168.1.1]の場合，Web ページアドレスは，https://192.168.1.1/administrator.html となります。

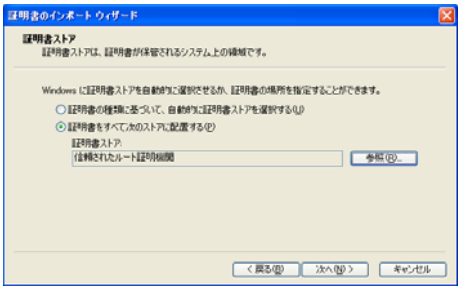
次項以降の注記に記載されたセキュリティ警告の解除を行っている場合は，暗号化通信が開始され，ログイン画面が表示されます。

セキュリティ警告の解除を行っていない場合は，次項以降の手順に従って，接続を行います。

⑷ セキュリティの警告メッセージの表示解除を行っていない場合，Web ページアドレスを入力後，ブラウザにて処理を続行して良いかどうかのセキュリティの警告メッセージが表示されます。
この警告メッセージは本機が自己認証方式を採用しているために表示されるものですので，[はい]を選択して処理を続行します。



※ブラウザを開くたびに表示されるセキュリティの警告メッセージを非表示にするためには，
・証明書の登録
・Web ブラウザのオプション設定
を行います。



証明書を登録するにはセキュリティ警告画面で[証明書の表示]ボタンをクリックして証明書を表示し，[証明書のインストール]ボタンをクリックして，証明書のインポートウィザードに[信頼されたルート証明機関]として登録します。

Web ブラウザでは，[ツール]－[インターネットオプション]－[詳細設定]ページで下記設定を行います。

項 目	設定内容
無効なサイト証明書について警告する	チェックを外す

⑸ ⑷で処理を続行すると，Java のセキュリティ警告メッセージが表示されますが，ここでも[はい]を選択して処理を続行します。

※ブラウザを開くたびに表示されるセキュリティの警告メッセージを非表示にするためには，[この発行者からのコンテンツを常に信頼します]をチェックして[はい]をクリックします。
なお，[この発行者からのコンテンツを常に信頼します]をチェックして[はい]をクリックした場合は，証明書登録内容を反映させるために，ブラウザの再起動が必要となることがあります。

※右の画面が表示されず，正常に接続できない場合は，Java に証明書を登録する必要があります。⑷で [証明書の表示] ボタンをクリックして証明書を表示し，[証明書]ページの[ファイルにコピー]ボタンをクリックして DER 形式で適当な場所に証明書を保存します。コントロールパネルの[Java]を開き，[セキュリティ]ページの[証明書]ボタンをクリックして証明書登録画面を表示し，[セキュアサイト]を選択して[インポート]ボタンをクリックし，ファイルタイプを[全てのファイル]に変更して先に保存した証明書を選択することで，Java への証明書の登録が完了します。

⑹ 接続が正常に行われるとログイン画面が表示され，G-150AD との通信が全て暗号化されます。
一般ユーザーの Web ページアドレスや各言語ごとの Web ページアドレスは，前項の［http］部分を［https］に置き換えたものになります。

3-2 空調機・換気機器・汎用機器の運転状態を確認する

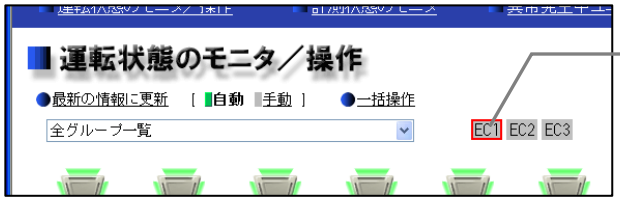
ここでは空調機・換気機器・汎用機器の運転状態を全グループ一覧／フロアレイアウトまたはブロック単位で監視する方法について説明します。

ログイン画面にて正しいユーザー名とパスワードを入力すると，運転状態のﾓﾆﾀ／操作画面が表示されます。

3-2-1 全グループ一覧／フロアレイアウトで運転状態を確認する

メニューの［運転状態のモニタ／操作］をクリックするか，サブメニューの[運転状態のモニタ／操作]をクリックすると，全空調機・換気機器・汎用機器グループの運転状態が一覧で表示されます。本体にてフロアレイアウト設定を行っている場合，フロアを選択して平面図表示を行うことができます。

異常監視や消し忘れの防止など，全グループを一覧で見たい場合にこの画面をご利用ください。

項　目	内　容
ブロック一覧	運転状態をブロック単位で確認できる画面に移ります。
最新の情報に更新	[最新状態に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
一括操作	[一括操作]をクリックすると，全グループ一括で操作できます。 ※拡張コントローラー（PAC-YG50EC）を接続している場合，現在表示されている系統のグループに対して一括操作を行います。全ユニットの操作を行う場合は，拡張コントローラーの系統を切り換えて全ての系統で一括操作を行ってください。（下記参照）
拡張コントローラー系統選択部	空調機等を 51 台以上監視するために拡張コントローラー（PAC-YG50EC）を接続している場合，拡張コントローラー系統選択部が表示され，各系統を選択することにより指定系統内のユニットの運転状態が一覧で表示されます。 ※拡張コントローラーの１系統目は［EC1］，２系統目は［EC2］，３系統目は［EC3］と表示されます。 ※平面図表示を行っている場合，および拡張コントローラーが接続されていない場合は，拡張コントローラー系統ボタンは表示されません。 
週間スケジュール番号	現在有効な週間スケジュールが表示されます。 「週間＊スケジュール期間中」 ※「＊」には現在有効なスケジュール番号（1～5）が入ります。

<table>
<tr><th>項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td>フロア選択

※GB-50AD では選択できません。</td><td>本体にてフロアレイアウト設定を行っている場合，［全グループ一覧］の他に設定したフロアが選択可能となります。フロアを選択すると，平面図上にグループアイコンが配置された画面が表示されます。
※フロアレイアウトは本体液晶画面でのみ設定可能となります。平面図の読み込みやレイアウトの設定方法は本体の取扱説明書をご覧ください。また，本体で平面図を変更した場合はブラウザを再起動してください。再起動後に新しい平面図が表示されます。
※解像度の高いディスプレイでは，ブラウザの表示サイズを大きくすることにより，フロア全体を表示することができます。
※グループアイコンをクリックして操作画面に移行する場合，操作画面は平面図表示エリアの左上に表示されます。空調機・汎用機器の操作を行う場合は画面を左上にスクロールして操作してください。

</td></tr>
<tr><td>グループアイコン</td><td>運転状態がアイコン化して表示されます。グループアイコンにマウスのカーソルを合わせるとグループ名が表示されます。また，クリックすると操作画面に移ります。
各運転状態におけるアイコンは次の通りとなります。

(1)空調機グループ運転状態
<table>
<tr><td>運転中</td><td>停止中</td><td>異常発生中</td><td>ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝ発生中</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>連動ロスナイ　運転中</td><td>連動ロスナイ　停止中</td><td>スケジュールあり</td><td>スケジュール無効</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>省エネ制御中</td><td>ｾｯﾄﾊﾞｯｸ運転中</td><td>不明（立ち上げ中）</td><td>室温の表示</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr>
</table>
※アイコンは４方向タイプの他，２方向や天吊りタイプ等が選択できます。アイコンの選択は初期設定ブラウザにて行ってください。
※フィルターサインマークの表示／非表示は初期設定ブラウザで選択できます。
※省エネ制御中のマークは，室内ユニットグループ，および所属する室外ユニットの省エネ制御時間帯に表示されます。また，所属する室外ユニットの ET 制御実行中に表示されます。
※室温の表示のマークはフロアレイアウト画面でしか表示されません。（全グループ一覧では表示されません。）また，室温の表示・非表示は，初期設定ブラウザで選択できます。
※ロスナイが複数グループの室内ユニットに連動設定されている場合，連動ロスナイが停止中表示の場合でもロスナイが運転している場合があります。
※換気連動設定されたスリムエアコンの場合に，連動ロスナイのみ単独運転を実施しても空調機及び換気連動のアイコンとも運転表示になります。
・対象の M-NET 接続アダプタ型名
PAC-SG40MA,PAC-SF48MA,PAC-SF49MA,PAC-SF50MA,PAC-SG68MA,PAC-SF87MA,
PAC-SG98MA,PAC-SH08MA,PAC-SH34MA
・対象の室外機型名
PU/PUH-JGAM,JGAM8,JGAM9,JFAM
PUZ-JGAM,JGAM9
※拡張コントローラーを接続して G-150AD を複数接続する場合，「スケジュールあり」「スケジュール無効」「省エネ制御中」「セットバック運転中」は，それぞれ機能を実行している G-150AD のみに表示されます。</td></tr>
</table>

項　目	内　容
グループアイコン	⑵換気機器（ロスナイ）グループ運転状態 ※フィルターサインマークの表示／非表示は初期設定ブラウザで選択できます。 ※省エネ制御中のマークは，換気機器（ロスナイ）グループの省エネ制御時間帯に表示されます。 ※拡張コントローラーを接続して G-150AD を複数接続する場合，「スケジュールあり」「スケジュール無効」「省エネ制御中」「24 時間換気中」「ナイトパージ運転中」は，それぞれの機能を実行している G-150AD のみに表示されます。 ※省エネ制御中に 24 時間換気中アイコンや室温の表示アイコンが表示される場合，表示の優先度は高い方から，省エネ制御中→24 時間換気中→室温の表示となります。 ※ナイトパージ運転中にスケジュールありが表示される場合は，表示の優先度は高い方から，ナイトパージ運転中→スケジュールあり となります。スケジュール無効が表示される場合も，表示の優先度は高い方から，ナイトパージ運転中→スケジュール無効 となります。 ※ナイトパージ運転中は，24 時間換気中アイコンは表示されません。 ⑶加熱加湿付ロスナイグループ運転状態 ※フィルターサインマークの表示／非表示は初期設定ブラウザで選択できます。 ※省エネ制御中のマークは，加熱加湿付ロスナイグループの省エネ制御時間帯に表示されます。 ※拡張コントローラーを接続して G-150AD を複数接続する場合，「スケジュールあり」「スケジュール無効」「省エネ制御中」は，それぞれの機能を実行している G-150AD のみに表示されます。 ⑷汎用機器グループ運転状態 ※アイコンは照明タイプの他，ポンプやカードキー等が選択できます。アイコンの選択は初期設定ブラウザにて行ってください。 ※拡張コントローラーを接続して G-150AD を複数接続する場合，「スケジュールあり」「スケジュール無効」は，その機能を実行している G-150AD のみに表示されます。

項　目	内　容
グループ名称	グループ名称の先頭８文字が表示されます。 ※グループ名称の表示／非表示は初期設定ブラウザで選択できます。 ※アイコン上にマウスカーソルを合わせた場合はグループ名称全文字が表示されます。 グループ名称 表示 グループ名称 非表示

3-2-2 ブロック別にグループの運転状態を確認する

全グループの一覧／フロアレイアウト画面にて[ブロック一覧]をクリックすると，空調機・換気機器・汎用機器グループの運転状態がブロックごとに表示されます。

一覧画面のデータに加え，運転モードや設定温度などの状態も確認したい場合，またはブロック単位で運転状態を確認したい場合にこの画面をご利用ください。

一括操作
ブロック一括操作を行います

最新の情報に更新
画面を最新情報に更新します

ブロック選択
表示したいブロックを選択します

グループアイコン
空調機・換気機器・汎用機器グループの運転状態を表示します。クリックすると運転操作画面に移ります

グループ名称表示
グループ名称を表示します

加湿アイコン
換気機器グループの加湿状態を表示します

全グループ一覧／フロアレイアウト
全グループ一覧またはフロアレイアウトで運転状態を表示します

週間スケジュール番号
現在有効な週間スケジュールが表示されます

設定温度表示
設定温度を表示します

室温表示
室内ユニットの吸い込み温度を表示します

運転モード表示
運転モードを表示します

項　目	内　容
全グループ一覧／フロアレイアウト	グループの運転状態を一覧またはフロアレイアウトで確認できる画面に移ります。
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
一括操作	[一括操作]をクリックすると，ブロック一括で操作できます。
ブロック選択	表示，操作したいブロックを選択します。
グループアイコン	運転状態がアイコン化して表示されます。クリックすると操作画面に移ります。
グループ名称表示	グループ名称が表示されます。
運転モード表示	運転モードが表示されます。 ※ 換気機器（ロスナイ）機種では，換気モードが表示されます。 ※ 加熱加湿付ロスナイ機種では，上段に運転モード，下段に換気モードが表示されます。
設定温度表示	設定温度が表示されます。 ※機種により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。
室温表示	室内ユニットの吸い込み温度が表示されます。 ※ 室内ユニットの吸い込み温度を表示するため，実際の室温とは異なる場合があります。 ※ 室温の表示・非表示は，初期設定ブラウザで選択できます。 ※ ロスナイグループでは設定温度，室温は表示されません。 ※ 汎用機器グループでは運転モード，設定温度，室温は表示されません。 ※ 機種により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。
加湿アイコン	加湿状態がアイコンで表示されます。 運転中 / 停止中 / 自動 ※ 換気機器（ロスナイ）機種，加熱加湿付ロスナイ機種で表示されます。 ※ 加湿機能のない機種は，本項目は表示されません。
週間スケジュール番号	現在有効な週間スケジュールが表示されます。 「週間＊スケジュール期間中」 ※「＊」には現在有効なスケジュール番号（1～5）が入ります。

3-3 空調機・換気機器・汎用機器の操作を行う

ここでは，空調機・換気機器（ロスナイ）・加熱加湿付ロスナイ・汎用機器をグループ単位，ブロック一括，全グループ一括で操作する方法について説明します。

3-3-1 グループ単位で操作する

全グループ一覧／フロアレイアウト，またはブロック一覧の運転状態監視画面にて，グループアイコンをクリックするとそのグループの操作画面が表示されます。現在の運転状態が表示されますので，操作したい項目を変更し，[OK]をクリックして操作内容を決定します。[キャンセル]をクリックすると，何もせずに元の画面に戻ります。

※Web ブラウザの設定で Java Script の実行が禁止されている場合，操作画面はフロアレイアウト画面の左上の位置に表示されます。フロアレイアウト画面にて右下方向にスクロールし，グループアイコンをクリックした場合は，画面を左上にスクロールしてから操作を行ってください。

(1)空調機グループの場合

ブロック名
ブロック名を表示します

グループ名
グループ名を表示します

運転／停止
運転／停止を切り換えます

運転モード
運転モードを設定します

設定温度
設定温度を変更します

風向
風向を設定します

スケジュール
有効/無効

キャンセルボタン
操作内容をキャンセルします

風速
風速を設定します

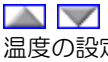
連動機 運転／停止
ロスナイ等の連動機の運転／停止を切り換えます

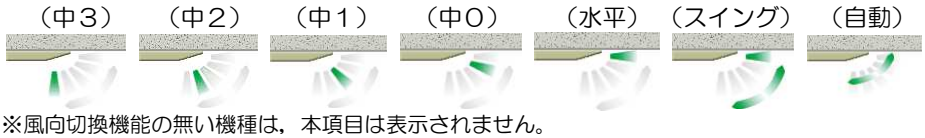
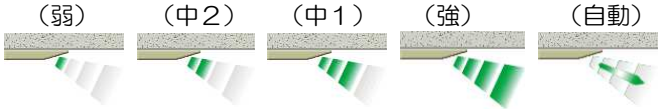
連動機 風量
ロスナイ等の連動機の風量を設定します

リモコン操作禁止
リモコンの操作禁止項目を設定します

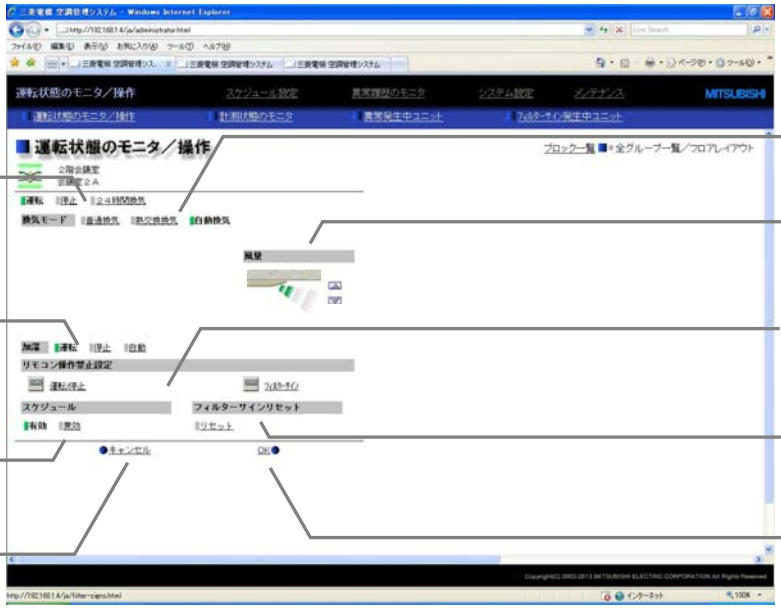
フィルターサインリセット
フィルターサインをリセットします

OK ボタン
操作内容を決定します。OK ボタンをクリックしないと操作は反映されません

項　目	内　容
運転／停止	[運転][停止]をクリックして，運転，停止を切り換えます。 ※連動機が接続されているグループは，本操作により運転／停止を切り替えたときに，連動機の運転／停止も連動して変化します。　連動機のみ運転／停止を変更したいときは「連動機　運転／停止」にて設定できます。
運転モード	[冷房][ドライ][送風][暖房][自動]をクリックして，運転モードを切り換えます。 ※運転モード切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※機種により操作できない運転モードがあります。操作できないモードは表示されません。 ※K制御機種では全てのモードが表示されますが，実際に利用可能なモードのみご利用ください。
設定温度	 をクリックして，設定温度を変更します。 温度の設定可能範囲は，モード，機種によって違います。 機種 / 冷房・ドライ / 暖房 / 自動 通常機種 / 19～30℃ / 17～28℃ / 19～28℃ 中温（CITY MULTI） / 14～30℃ / 17～28℃ / 17～28℃ 中温（Mr.Slim） / 14～30℃ / 14～28℃ / 14～28℃ ※機種により設定温度範囲は変わります。 ※機種により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。

項　目	内　容
風向	をクリックして，風向を設定します。  ※風向切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※機種により操作可能な機能が変化します。 ※A 制御機種（スリム機種），ルームエアコン機種では，[自動]は表示されません。
風速	をクリックして，風速を設定します。  ※風速切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※機種により操作可能な機能が変化します。 ※A 制御機種（スリム機種），ルームエアコン機種では，[自動]は表示されません。
リモコン操作禁止	リモコンでの操作禁止項目を設定します。[運転/停止][運転モード][設定温度][フィルターサイン]の文字部分をクリックして，禁止 ，許可 を切り換えます。 ※K 制御機種は，全項目禁止または全項目許可のみ設定できます。 ※K 制御機種は，[フィルターサイン]の項目が表示されません。
スケジュール 有効／無効	設定したスケジュールの有効，無効を設定します。 [有効][無効]をクリックして，有効，無効を切り換えます。
フィルターサイン	[リセット]をクリックして，リセットするか，しないかを切り換えます。リセットする場合は[**リセット**]のように，文字の左側が緑色表示になるようにしてください。 ※フィルターサインが発生していないグループは，本項目は表示されません。
連動機 運転／停止	[運転][停止]をクリックして，連動機の運転，停止を切り換えます。 ※連動機が接続されていないグループは，連動機の操作項目は表示されません。
連動機 風量	をクリックして，連動機の風量を設定します。 ※連動機が接続されていないグループは，連動機の操作項目は表示されません。

⑵ 換気機器（ロスナイ）グループの場合



運転／停止／24 時間換気
運転／停止／24 時間換気を切り換えます

加湿
加湿を切り換えます

スケジュール
有効/無効

キャンセルボタン
操作内容をキャンセルします

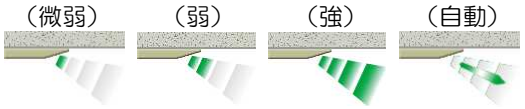
換気モード
換気モードを設定します

風量
風量を設定します

リモコン操作禁止
リモコンの操作禁止項目を設定します

ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝﾘｾｯﾄ
ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝをリセットします

OK ボタン
操作内容を決定します。OK ボタンをクリックしないと操作は反映されません

項　目	内　容
運転／停止／24 時間換気	[運転][停止][24 時間換気]をクリックして，運転，停止，24 時間換気を切り換えます。 ※機種により[24 時間換気]が表示されない場合があります。 ※24 時間換気設定が有効な場合のみ，[24 時間換気]が表示されます。 ※24 時間換気設定が有効で停止操作する場合，又は，ナイトパージ運転中に運転／停止／24 時間換気操作する場合，現状の設定や動作を切り替えることとなるため，確認のためのメッセージが表示されます。 ※ナイトパージ運転中，停止操作した場合，約 1 時間ナイトパージ運転しません。 ※停止操作を行った時，24 時間換気を開始する機種があります。該当機種の取扱説明書を参照ください。
換気モード	[普通換気][熱交換換気][自動換気]をクリックして，換気モードを切り換えます。 ※ナイトパージ運転中，24 時間換気中，または，24 時間換気を選択している場合は，換気モードは表示されません。
風量	をクリックして，風量を設定します。  ※風量切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※機種により操作可能な機能が変化します。 ※換気機器（ロスナイ）機種では，[風量]と表示されます。微弱・弱・強・自動の切り換えができます。機種により選択可能な風量は異なります。LGH-CX6，LGH-N＊＊RX（＊＊は容量）のみ微弱操作できます。 ※24 時間換気を選択した場合は，表示されません。 ※ナイトパージ運転中，風量を変更できます。[自動]は表示されません。
加湿	[運転][停止][自動]をクリックして，加湿の運転，停止，自動を切り換えます。 ※加湿機能の無い機種は，本項目は表示されません。
リモコン操作禁止	リモコンでの操作禁止項目を設定します。[運転/停止] [フィルターサイン]の文字部分をクリックして，禁止 ，許可 を切り換えます。
スケジュール 有効／無効	設定したスケジュールの有効，無効を設定します。 [有効][無効]をクリックして，有効，無効を切り換えます。
フィルターサイン	[リセット]をクリックして，リセットするか，しないかを切り換えます。リセットする場合は[**リセット**]のように，文字の左側が緑色表示になるようにしてください。 ※フィルターサインが発生していないグループは，本項目は表示されません。

※換気機器（ロスナイ）グループの操作画面のグループアイコンにて，ナイトパージ設定が有効であり，ナイトパージが運転していない場合，ナイトパージ停止中アイコン （グレー）が表示されます。

(3)加熱加湿付ロスナイグループの場合

運転／停止
運転／停止を切り換えます

運転モード
運転モードを設定します

設定温度
設定温度を変更します

風向
風向を設定します

加湿
加湿を切り換えます

スケジュール
有効/無効

キャンセルボタン
操作内容をキャンセルします

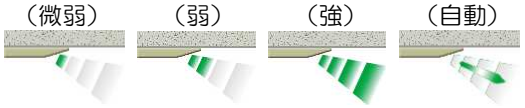
換気モード
換気モードを設定します

風量
風量を設定します

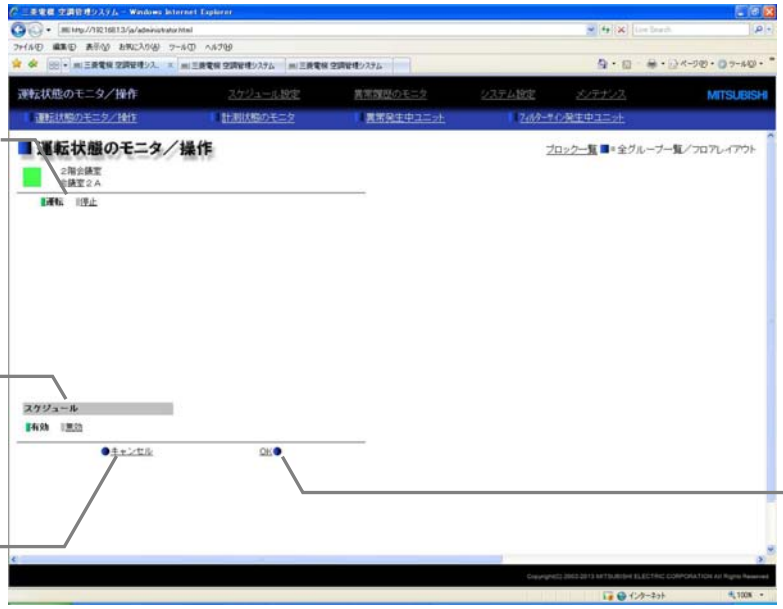
リモコン操作禁止
リモコンの操作禁止項目を設定します

ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝﾘｾｯﾄ
ﾌｨﾙﾀｰｻｲﾝをリセットします

OK ボタン
操作内容を決定します。OK ボタンをクリックしないと操作は反映されません

項　目	内　容
運転／停止	[運転][停止]をクリックして，運転，停止を切り換えます。
運転モード	[冷房][ドライ][送風][暖房][自動]をクリックして，運転モードを切り換えます。 ※運転モード切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※機種により操作できない運転モードがあります。操作できないモードは表示されません。
換気モード	[普通換気][熱交換換気][自動換気]をクリックして，換気モードを切り換えます。
設定温度	をクリックして，設定温度を変更します。 温度の設定可能範囲は，モード，機種によって違います。 機種 / 冷房・ドライ / 暖房 / 自動 通常機種 / 19～30℃ / 17～28℃ / 19～28℃ ※設定温度切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※機種により設定温度範囲は変わります。 ※機種により 0.5℃単位または 1℃単位で表示されます。
風量	をクリックして，風量を設定します。 （微弱）（弱）（強）（自動）  ※風量切換機能の無い機種は，本項目は表示されません。 ※機種により操作可能な機能が変化します。 ※微弱・弱・強・自動の切り換えができます。機種により選択可能な風量は異なります。
加湿	[運転][停止][自動]をクリックして，加湿の運転，停止，自動を切り換えます。 ※運転モードが暖房の場合のみ表示されます。
リモコン操作禁止	リモコンでの操作禁止項目を設定します。[運転/停止][運転モード][設定温度][フィルターサイン]の文字部分をクリックして，禁止 ，許可 を切り換えます。
スケジュール 有効／無効	設定したスケジュールの有効，無効を設定します。 [有効][無効]をクリックして，有効，無効を切り換えます。
フィルターサイン	[リセット]をクリックして，リセットするか，しないかを切り換えます。リセットする場合は[**リセット**]のように，文字の左側が緑色表示になるようにしてください。 ※フィルターサインが発生していないグループは，本項目は表示されません。

(4)汎用機器グループの場合



項　目	内　容
運転／停止	[運転][停止]をクリックして，運転，停止を切り換えます。
スケジュール 有効／無効	設定したスケジュールの有効，無効を設定します。 [有効][無効]をクリックして，有効，無効を切り換えます。

※グループ操作を禁止されている汎用機器は操作できません。

3-3-2 ブロック一括で操作する

(1)ブロック一覧の運転状態監視画面にて一括で操作したいブロックを表示させ[一括操作]をクリックします。選択したブロック内に空調機グループと換気機器（ロスナイ）グループ，加熱加湿付ロスナイグループ，汎用機器グループが混在している場合，どの機器を操作するかの選択画面が表示されますので，[ブロック内の空調機]または[ブロック内の換気機器] または[ブロック内の加熱加湿付ロスナイ]または［その他の機器］を選択し，クリックすると，一括操作画面が表示されます。
なお，選択したブロック内に空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループ，加熱加湿付ロスナイグループ，汎用機器グループのいずれか一種類しか無い場合，この選択画面は表示されません。

(2)一括操作画面にて内容設定後，[OK]をクリックすると操作した項目のみを選択したブロック内の全ての空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループまたは加熱加湿付ロスナイグループまたは汎用機器グループに対して送信します。[キャンセル]をクリックすると，何も設定せずに元の画面に戻ります。

※ブロック一括でフィルターサインのリセットを行うと，フィルターサイン発生有無に関わらず，選択したブロックに所属する全ユニットのフィルターサイン表示に用いられる運転時間の積算値がリセットされます。一括してフィルターの清掃を行った場合などにご利用ください。

※K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，リモコン操作禁止項目を全て許可に設定してください。

※汎用機器は運転・停止とスケジュール有効・無効のみ操作可能です。なお，グループ操作または一括操作を禁止されている汎用機器は操作できません。

3-3-3 全グループ一括で操作する

(1)全グループ一覧の運転状態監視画面にて[一括操作]をクリックします。システム内に空調機グループと換気機器（ロスナイ）グループ，加熱加湿付ロスナイグループ，汎用機器グループが混在している場合，どの機器を操作するかの選択画面が表示されますので，[全ての空調機]または[全ての換気機器] または[全ての加熱加湿付ロスナイ]または［その他の機器］を選択し，クリックすると，一括操作画面が表示されます。
なお，システム内に空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループ，加熱加湿付ロスナイグループ，汎用機器グループのいずれか一種類しか無い場合，この選択画面は表示されません。

(2)一括操作画面にて内容設定後，[OK]をクリックすると操作した項目のみを全ての空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループまたは加熱加湿付ロスナイグループまたは汎用機器グループに対して送信します。[キャンセル]をクリックすると，何も設定せずに元の画面に戻ります。

※全グループ一括でフィルターサインのリセットを行うと，フィルターサイン発生有無に関わらず，全ユニットのフィルターサイン表示に用いられる運転時間の積算値がリセットされます。一括してフィルターの清掃を行った場合などにご利用ください。

※K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，リモコン操作禁止項目を全て許可に設定してください。

※汎用機器は運転・停止とスケジュール有効・無効のみ操作可能です。なお，グループ操作または一括操作を禁止されている汎用機器は操作できません。

3-4 計測状態を確認する

ここでは計測状態を一覧またはグラフで確認する方法について説明します。

※温度，湿度を計測する場合は，環境用計測コントローラ（PAC-YG63MC）および市販の温度センサー，湿度センサーが必要です。

※電力量等を計測する場合は，計量用計測コントローラ（PAC-YG60MC）および市販のパルス出力式計量計が必要です。

3-4-1 計測値を一覧で確認する

メニューの［運転状態のモニタ／操作］をクリックし，サブメニューの[計測状態のモニタ]をクリックすると，現在の計測状態が一覧で表示されます。

最新の情報に更新
画面を最新情報に更新します

計測名称
計測計の名称が表示されます

計測値
計測値が表示されます

トレンドグラフ
各計測値のグラフを表示します

拡張コントローラー系統選択部
表示する系統を選択します

項　目	内　容
トレンドグラフ	計測値をグラフで確認できる画面に移ります。
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
拡張コントローラー系統選択部	拡張コントローラー系統を選択することにより，指定系統内の計測ユニットが表示されます。 ※拡張コントローラー（PAC-YG50EC）が接続されていない場合は，拡張コントローラー系統選択部は表示されません。
計測値	各計測計の現在値を表示します。 ※各計測計は以下のアイコンで表示されます。また，温度，湿度利用時に，あらかじめ設定された上限警報値，下限警報値を超えている場合，アイコンが橙色で表示されます。

	正常時	上下限警報発生時（橙色）	通信異常時（橙色）
温度センサー			※1
湿度センサー			※1
計量計			※2

※1　通信異常時，または，センサー異常時，温度センサーと湿度センサーの計測値は「- -」が表示されます。

※2　通信異常時，計量計の計測値は「異常発生直前の値」が表示されます。

3-4-2 計測値をグラフで確認する

計測状態の一覧画面にて［トレンドグラフ］をクリックし，表示したい計測計を選択すると計測値がグラフで表示されます。また，表示中のデータを CSV 形式のファイルでダウンロードすることが出来ます。

※トレンドグラフは［温度］［湿度］［ピークカット制御用電力］［電力量］の４種類が表示可能です。

最新の情報に更新
画面を最新情報に更新します

計測計選択部
表示したい計測計を選択します

計測データ
計測値をグラフで表示します

ダウンロード
表示データを CSV 形式のファイルで ダウンロードします

一覧表示
一覧で計測状態を表示します

拡張コントローラー系統選択部
表示する系統を選択します

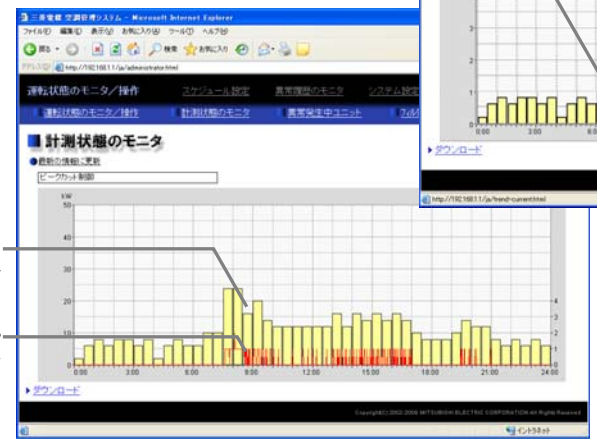
計測データ日付
表示したい計測データの日付を選択します

上限・下限警報値
上下限警報の上限値，下限値を表示します

温度・湿度グラフ

使用電力量
30 分の使用電力量を表示します

電力量グラフ

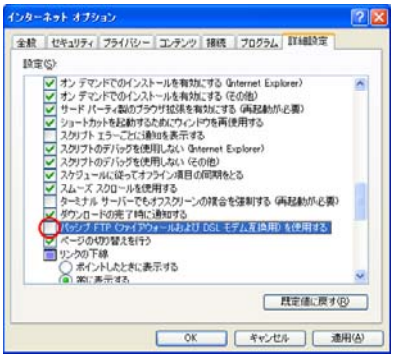


平均電力
30 分の平均電力値を表示します

制御レベル
制御レベルの変化を表示します

ピークカット制御グラフ

項　目		内　容
一覧表示		計測状態を一覧で確認できる画面に移ります。
最新の情報に更新		[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
拡張コントローラー系統選択部		拡張コントローラー系統を選択することにより，指定系統内の計測ユニットが表示されます。 ※拡張コントローラー（PAC-YG50EC）が接続されていない場合は，拡張コントローラー系統選択部は表示されません。
計測計選択部		計測計選択部をクリックして表示される計測計名称一覧から，表示したい計測計を選択します。 ※ピークカット機能を利用している場合，［ピークカット制御］が選択可能となり，電力値，制御レベルのグラフを表示することができます。
計測データ日付		表示したい日付を選択します。 ※温度・湿度のグラフはデータ保存間隔により表示可能な日数が異なります。５分間隔の場合は１０日間，１分間隔の場合は２日間表示可能です。 ※ピークカット制御のグラフは当日，前日，前々日の３日間が表示可能です。
温度・湿度	計測データ	計測値がグラフで表示されます。 ※温度・湿度のデータ間隔は初期設定ブラウザにて設定可能です（１分／２分／５分から選択）。
	上限･下限警報値	初期設定ブラウザで設定した上下限警報の上限検知値，下限検知値を表示します。 表示されている日の計測データが１度でも上限値または下限値を超えた場合，グラフ内の上限値以上または下限値以下の領域が黄色で表示されます。
電力量	使用電力量	30 分単位の使用電力量（kWh）が表示されます。 ※電力量は５分毎に保存されるため，G-150AD に停電が発生すると停電中の電力量のデータが保存されません。また，保存されなかった分少ない電力量が表示されます。

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ピークカット制御</td><td>平均電力</td><td>30 分単位の平均電力（kW）が表示されます。
※電力値は毎時 00 分，30 分に保存するため，G-150AD に停電が発生すると停電中のデータが保存されません。また，保存されなかった時間帯の電力値は表示されません。
※電力値は［kW］単位で表示されます。30 分単位のグラフで表示した場合，電力量（kWh）との換算式は 電力値［kW］＝2×電力量［kWh］ となります（30 分間の使用電力量が 20kWh の場合，平均電力は 40kW で表示されます）。
※ピークカット方式が「電力量カウント PLC 方式」「計量用計測コントローラ方式」以外の場合，平均電力は表示されません。</td></tr>
<tr><td>制御レベル値</td><td>ピークカット制御実施時の制御レベルを１分単位で表示します。
※制御レベル値は毎時 00 分，30 分に保存されるため，G-150AD に停電が発生すると停電中のデータが保存されません。また，保存されなかった時間帯の制御レベル値は表示されません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダウンロード</td><td>ダウンロードボタンをクリックすると，表示データを CSV 形式のファイルでダウンロードすることができます。
ダウンロードデータのフォーマット，データ例は以下のようになります。
<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>フォーマット</th></tr>
<tr><td>１行目</td><td>ファイル区分</td><td>温度：121
湿度：122
ピークカット制御：123
電力量：125</td></tr>
<tr><td>２行目</td><td>データ日付</td><td>yyyy/mm/dd</td></tr>
<tr><td>３行目</td><td>トレンド対象</td><td>温度：″アドレス ″+M-NET アドレス※1＋″-″＋センサー番号
湿度：″アドレス ″+M-NET アドレス※1＋″-″＋センサー番号
ピークカット制御：″ピークカット電力″
電力量：″アドレス ″+M-NET アドレス※1＋″-″＋計量計番号</td></tr>
<tr><td>４行目</td><td>項目</td><td>温度：″時刻,温度（℃）″
湿度：″時刻,湿度（%）″
ピークカット電力：″時刻,電力値(kW)，制御レベル″
電力量：″時刻,電力量(kWh)″</td></tr>
<tr><td>５行目～</td><td>データ</td><td>温度：hh:MM※2，温度
湿度：hh:MM※2，湿度
※温度・湿度計測の上限・下限警報値はファイルに出力されません。
ピークカット電力：hh:MM（1 分間隔），電力値，制御レベル
※電力値(kW)は 30 分間，同一の値が出力されます。
電力量：hh:MM（5 分間隔），電力量</td></tr>
</table>
※1 拡張コントローラー(PAC-YG50EC)が接続されている場合は「M-NET アドレス」の前に「拡張コントローラー番号+″-″」が付加されます。
※2温度，湿度データは初期設定用ブラウザで設定されたトレンド間隔（１分，２分，または５分間隔）にて出力されます。
温度データ例
121
2007/04/01
アドレス 50-1
時刻,温度（℃）
00:00,20.3
00:05,20.1
00:10,19.8
:
23:50,18.8
23:55,18.5
ピークカット制御データ例
123
2007/04/01
ピークカット電力
時刻,電力値(kW),制御レベル
00:00,8,1
00:01,8,0
00:02,8,0
:
23:58,6,0
23:59,6,0
電力量データ例
125
2007/04/01
アドレス 49-1
時刻,電力量(kWh)
00:00,8
00:05,8
00:10,8
:
23:50,6
23:55,6
 
※正常にダウンロード出来ない場合は，ブラウザのオプション設定にて，パッシブＦＴＰを使用しない設定としてください（上図参照）。</td></tr>
</table>

3-5 異常発生中ユニットの一覧を確認する

メニューの［運転状態のモニタ／操作］をクリックし，サブメニューの[異常発生中ユニット]をクリックすると，現在，異常が発生しているユニットが一覧で表示されます。

項　目	内　容
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
拡張コントローラー系統選択部	拡張コントローラー系統を選択することにより，指定系統内の異常発生中ユニットが表示されます。 ※拡張コントローラー（PAC-YG50EC）が接続されていない場合は，拡張コントローラー系統選択部は表示されません。 ※異常が発生している系統は緑色で表示されます。
一括リセット	[一括リセット]をクリックすると，異常が発生している全ての機器の異常がリセットされます。 ※拡張コントローラー接続時は，選択されている拡張コントローラー系統の一括リセットを行います。
発生中機器の台数	異常が発生している機器の台数が表示されます。 ※拡張コントローラー接続時は，選択されている拡張コントローラー系統の異常発生台数を表示します。
グループ名	グループ名が表示されます。 ※室外ユニットやシステムコントローラなど，操作対象のグループに登録していない機器は空欄で表示されます。
ユニットアドレス	ユニットアドレスが表示されます。
異常コード	発生している異常の異常コードが表示されます。

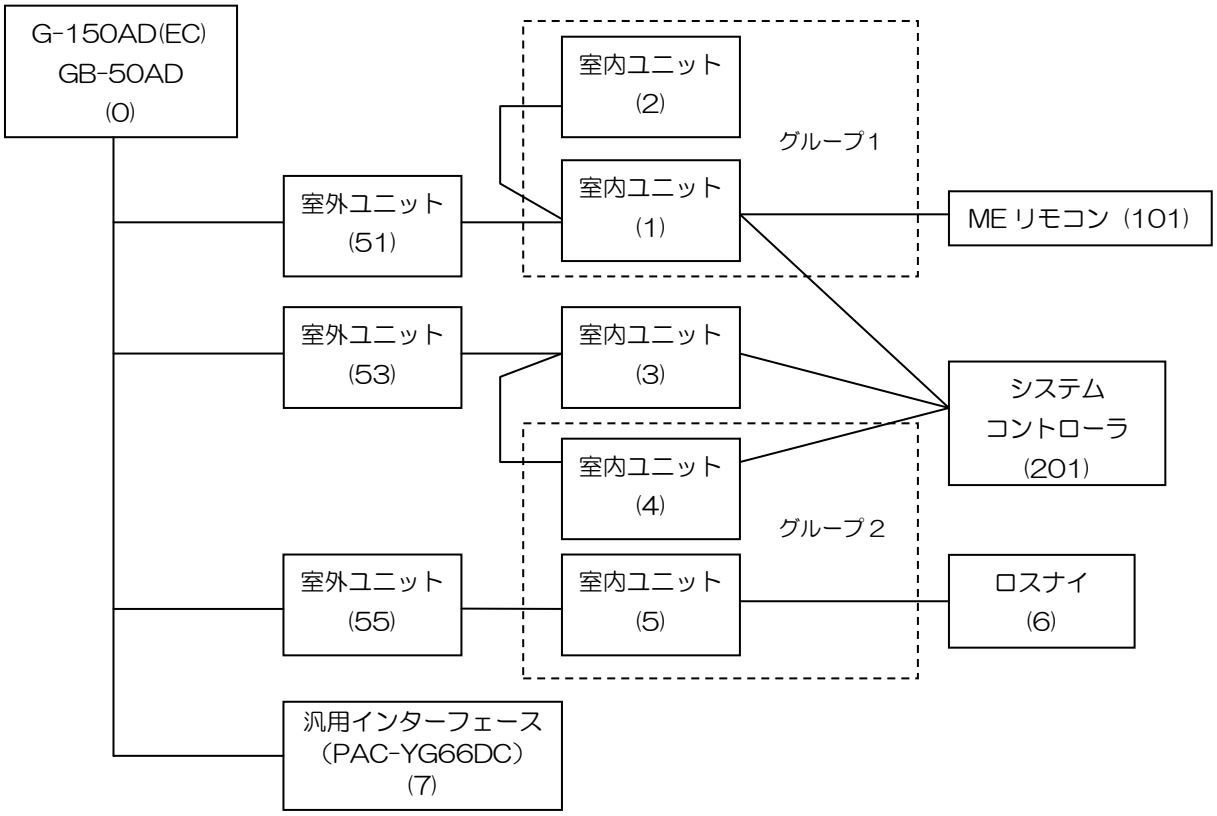
●異常リセット範囲

発生中の異常をリセットした場合に，異常発生中のユニット以外のユニットが停止する場合があります。

異常発生ユニットと停止するユニットの対応表

異常発生ユニット	停止するユニット
G-150AD (EC), GB-50AD が異常の場合	ユニットは停止しない
室外ユニットが異常の場合	異常の室外ユニットに接続されている全ての室内ユニット
室内ユニットが異常の場合	異常の室内ユニットおよびその室内ユニットと同じグループの室内ユニット
ME(MA) リモコンが異常の場合	異常が発生しているリモコンが接続されている室内ユニット
システムコントローラが異常の場合	異常が発生しているシステムコントローラが接続されている全ての室内ユニット
連動設定されたロスナイが異常の場合	異常が発生しているロスナイの連動元の室内ユニット
汎用インターフェース（PAC-YG66DC）が異常の場合	ユニットは停止しない

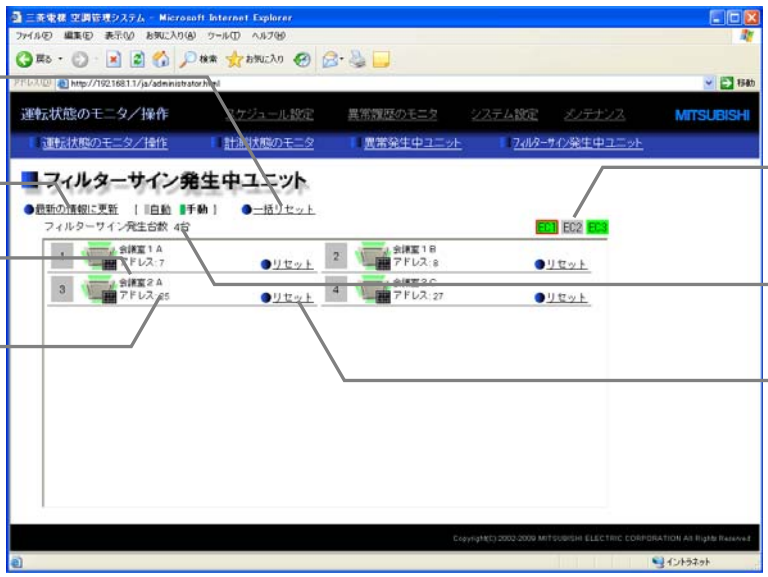
下記に，停止するユニットの範囲例を示します。



異常発生ユニット	停止するユニット
G-150AD (EC), GB-50AD (0)	なし
室外ユニット (51)	室内ユニット (1)、室内ユニット(2)
室外ユニット (53)	室内ユニット (3)、室内ユニット (4)、室内ユニット (5)
室内ユニット (1)	室内ユニット (1)、室内ユニット (2)
室内ユニット (3)	室内ユニット (3)
室内ユニット (5)	室内ユニット (4)、室内ユニット (5)
ロスナイ (6)	室内ユニット (5)
ME リモコン（101）	室内ユニット (1)
システムコントローラ (201)	室内ユニット (1)、室内ユニット (3)、室内ユニット (4)
汎用インターフェース(PAC-YG66DC) (7)	なし

3-6 フィルターサイン発生中ユニットの一覧を確認する

メニューの［運転状態のモニタ／操作］をクリックし，サブメニューの[フィルターサイン発生中ユニット]をクリックすると，現在，フィルターサインが発生しているユニットが一覧で表示されます。



一括リセット
フィルターサインの一括リセットを行います

最新の情報に更新
画面を最新情報に更新します

グループ名
グループ名を表示します

ユニットアドレス
ユニットアドレスを表示します

拡張コントローラー系統選択部
表示する系統を選択します

発生中機器の台数
発生している台数を表示します

個別リセット
所属するグループのフィルターサインをリセットします

項　目	内　容
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
拡張コントローラー系統選択部	拡張コントローラー系統を選択することにより，指定系統内のフィルターサイン発生中ユニットが表示されます。 ※拡張コントローラー（PAC-YG50EC）が接続されていない場合は，拡張コントローラー系統選択部は表示されません。 ※フィルターサインが発生している系統は緑色で表示されます。
一括リセット	[一括リセット]をクリックすると，フィルターサインが発生している全ての機器のフィルターサインがリセットされます。 ※拡張コントローラー接続時は，選択されている拡張コントローラー系統の一括リセットを行います。
発生中機器の台数	フィルターサインが発生している機器の台数が表示されます。 ※拡張コントローラー接続時は，選択されている拡張コントローラー系統のフィルターサイン発生台数を表示します。
グループ名	グループ名が表示されます。
ユニットアドレス	ユニットアドレスが表示されます。
個別リセット	[リセット]をクリックすると，そのユニットが所属するグループのフィルターサインをリセットします。

3-7 スケジュールを設定する

G-150AD では年間スケジュール，週間スケジュール１～週間スケジュール５，当日スケジュールが利用可能です。

週間／年間／当日スケジュールは，空調機グループ単位で設定することが可能です。また，スケジュールはその日に設定されている週間／年間／当日スケジュールのうちのいずれかのスケジュールが実行され，実行される優先度は高い方から[当日]→[年間]→[週間 1]→[週間 2]→･･･→[週間 5] の順になっています。

※本体の液晶画面でも Web ブラウザと同一のスケジュール設定が可能です。

※拡張コントローラーを接続して G-150AD を複数接続して使用する場合は,グループ毎のスケジュール設定をどれか 1 台の G-150AD に設定して下さい。

季節によるスケジュール切り替えが可能

実行優先度 低

週間スケジュール

週間スケジュール 5

(1)1 日の動作回数 ： 24 回
(2)操作項目
①運転/停止/最適起動　②運転モード　③設定温度　④風向　⑤風速
⑥リモコン操作禁止/許可　※設定可能な項目は機種により異なります
(3)時刻設定単位 ： 1 分
(4)季節設定 ： あり（週間 5 の有効期間を設定可）

週間スケジュール 4

(1)～(3) ： 週間スケジュール 5 と同一
(4)季節設定 ： あり（週間 4 の有効期間を設定可）

週間スケジュール 3

(1)～(3) ： 週間スケジュール 5 と同一
(4)季節設定 ： あり（週間 3 の有効期間を設定可）

週間スケジュール 2

(1)～(3) ： 週間スケジュール 5 と同一
(4)季節設定 ： あり（週間 2 の有効期間を設定可）

週間スケジュール 1

(1)～(3) ： 週間スケジュール 5 と同一
(4)季節設定 ： あり（週間 1 の有効期間を設定可）

祝日のスケジュール設定が可能

年間スケジュール

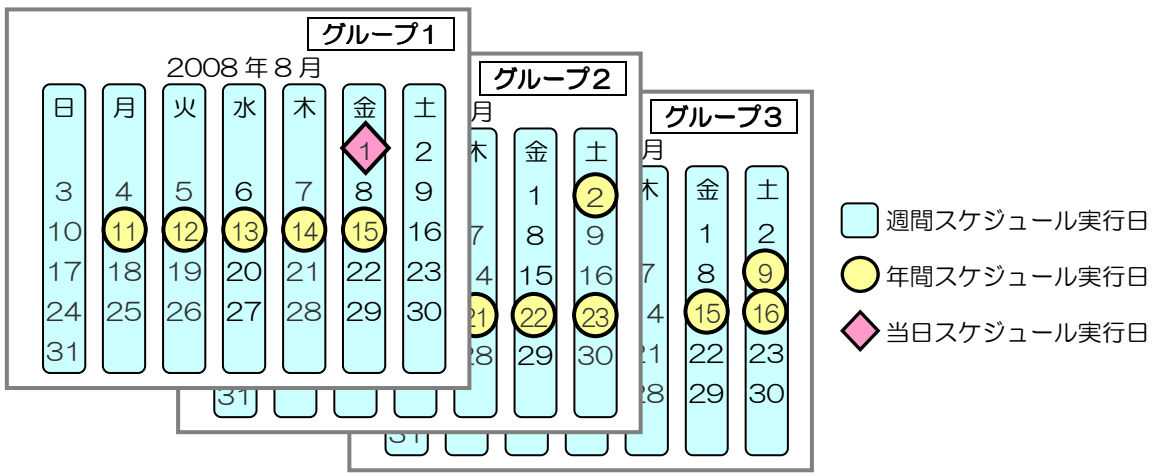
祝日や夏期休暇など，週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを，年間 50 日まで設定可能

当日のスケジュール変更が可能

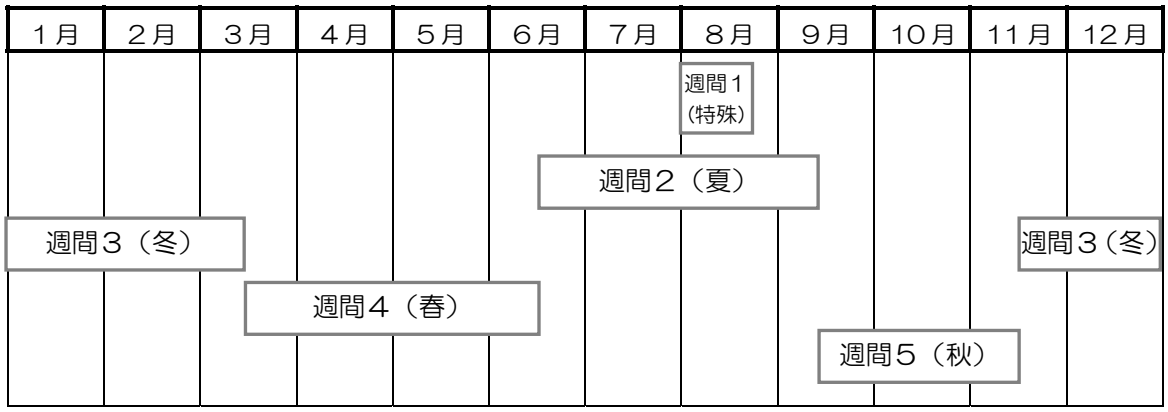
当日スケジュール

週間スケジュール，年間スケジュールを変更せずに，当日のスケジュールを変更可能。

実行優先度 高



また，週間スケジュール１～5 は季節ごとのスケジュールを設定することが可能です。



※週間スケジュール１：8/1～8/20，週間スケジュール２：6/16～9/15，週間スケジュール３：11/16～3/15，
週間スケジュール４：3/16～6/15，週間スケジュール５：9/16～11/15 で設定した場合の例

※週間スケジュール１，週間スケジュール２，週間スケジュール３，週間スケジュール４，週間スケジュール５の期間が重なっている場合は，週間スケジュール１→週間スケジュール２→週間スケジュール３→週間スケジュール４→週間スケジュール５の順で優先度が一番高いスケジュールが動作します。

3-7-1 週間スケジュールを設定する

メニューの［スケジュール設定］をクリックし，サブメニューの［週間設定１］～［週間設定 5］をクリックするとそれぞれの週間スケジュールの設定画面が表示されます。週間スケジュールを設定するには，まず設定する対象を選択し，日曜日～土曜日の各曜日のスケジュール内容を設定します。

※スケジュールで実行された操作内容は，スケジュールまたはブラウザ等で変更されない限り継続しますので，その日限りのスケジュールを設定する場合は，翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の 17:00 以降をリモコン操作禁止にしたい場合は，17:00 に禁止，23:59 に許可を設定してください。

※操作画面でスケジュール無効としたグループは，スケジュール内容を設定できますが，週間スケジュールは動作しません。

※TG-2000 が接続されているシステムの場合，TG-2000 Ver. 6.37A 以前では［週間１］，［週間 2］のみ使用することができます。

※加熱加湿付ロスナイの場合，運転モードの位置に上段：運転モード・下段：換気モードが表示されます。又，風量の右横に加湿設定の状態が表示されます。

季節設定
スケジュールを実行する季節（期間）を設定します

設定単位
設定する単位を選択します

ブロック名称
設定するブロックを選択します

グループ名称
設定するグループを選択します

グループ番号
設定するグループを選択します

コピー(ｸﾞﾙｰﾌﾟ)/貼り付け
グループ間でコピー／貼り付けを行います

拡張コントローラー系統選択部
設定する系統を選択します

元に戻すボタン
変更した内容を元に戻します

曜日の選択
スケジュールを設定する曜日を選択します

コピー(曜日)/貼り付け
各曜日間でコピー／貼り付けを行います

スケジュール内容
スケジュール内容を表示します

設定ボタン
スケジュール内容を設定します

削除ボタン
スケジュール内容を削除します

設定保存ボタン
スケジュール内容を保存します
このボタンを押さないと設定は保存されません。

（1）スケジュールを設定する対象を選択する

（1-1）特定のグループを選択する

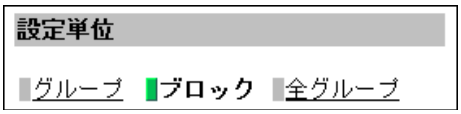
特定のグループをスケジュール設定したい場合は［グループ］を設定単位欄からクリックして選択します。

設定対象欄から所属するブロック名称を選択し，グループ名称を選択します。また，直接グループ名称，グループ番号をクリックして選択することも可能です。グループを選択すると，そのグループが保持しているスケジュール内容がスケジュール内容欄に表示されます。

※拡張コントローラーが接続されている場合は［拡張コントローラー系統選択部］が表示されますので，グループ番号を選択する場合は拡張コントローラーの系統（EC1/EC2/EC3）を選択後，グループを選択してください。
グループ名称欄は全拡張コントローラー系統分のグループが選択可能となります（名称が未設定の場合は［グループ 1-35］のように拡張コントローラー＋グループ番号の形式で表示されます）。

(1-2) ブロック内のグループを一括して選択する

ブロック内のグループを一括してスケジュール設定したい場合は［ブロック］を設定単位欄からクリックして選択します。

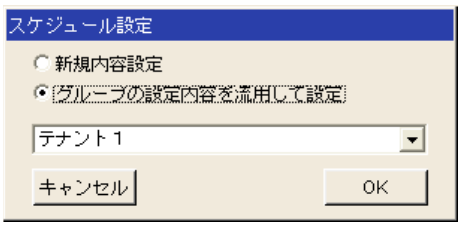


設定対象欄から所属するブロック名称を選択します。また，グループ番号をクリックすると，そのグループが所属するブロックが選択されます(ブロックに所属していないグループは選択できません)。

※拡張コントローラーが接続されている場合は［拡張コントローラー系統選択部］が表示されますので，グループ番号を選択する場合は拡張コントローラーの系統（EC1/EC2/EC3）を選択後，グループ番号を選択してください。

ブロック選択後，選択したブロック内に空調機グループと換気機器（ロスナイ）グループ，加熱加湿付ロスナイグループ，汎用機器グループが混在している場合，どの機器を設定するかの選択画面が表示されますので，[ブロック内の空調機]または[ブロック内の換気機器]または[ブロック内の加熱加湿付ロスナイ]または[その他の機器]を選択し，クリックすると，一括設定画面が表示されます。
なお，選択したブロック内に空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループ，加熱加湿付ロスナイグループ，汎用機器グループのいずれか一種類しか無い場合，この選択画面は表示されません。

次に，スケジュール設定方法を［新規内容設定］するか，［グループの設定内容を流用して設定］するかを選択する画面が表示されますので，今までの設定に追加したい場合などは流用を選択し，流用元のグループ名称を選択し，［OK］ボタンを押してください。
新規を選択した場合はスケジュール内容欄が全て空欄で表示されます。流用を選択した場合は，流用元グループに設定されているスケジュール内容が，スケジュール内容欄に表示されます。



(1-3) 全グループを一括して選択する

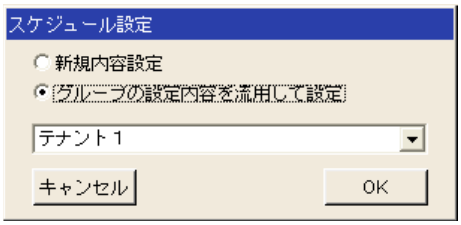
全グループを一括してスケジュール設定したい場合は［全グループ］を設定単位欄からクリックして選択します。

全グループ選択後，システム内に空調機グループと換気機器（ロスナイ）グループ，加熱加湿付ロスナイグループ，汎用機器グループが混在している場合，どの機器を設定するかの選択画面が表示されますので，［全ての空調機］または［全ての換気機器］または［全ての加熱加湿付ロスナイ］または［その他の機器］を選択し，クリックすると，一括設定画面が表示されます。

なお，システム内に空調機グループまたは換気機器（ロスナイ）グループ，加熱加湿付ロスナイグループ，汎用機器グループのいずれか一種類しか無い場合，この選択画面は表示されません。

次に，スケジュール設定方法を［新規内容設定］するか，［グループの設定内容を流用して設定］するかを選択する画面が表示されますので，今までの設定に追加したい場合などは流用を選択し，流用元のグループ名称を選択し，［OK］ボタンを押してください。

新規を選択した場合はスケジュール内容欄が全て空欄で表示されます。流用を選択した場合は，流用元グループに設定されているスケジュール内容が，スケジュール内容欄に表示されます。



(2) スケジュールを有効とする期間を設定する

画面右上の季節設定部で［設定］ボタンをクリックして週間スケジュール１～5 を有効とする期間を設定します。但し，基本システム設定画面でスケジュール季節設定が「無効」に設定されている場合は，［設定］ボタンは非表示となります。

季節設定が無効に設定されています

※有効期間の設定は全グループ共通の設定となります。

※週間スケジュール１，週間スケジュール２，週間スケジュール３，週間スケジュール４，週間スケジュール５の期間が重なっている場合は，優先度が高い方から，週間スケジュール１→週間スケジュール２→週間スケジュール３→週間スケジュール４→週間スケジュール５の順で，優先度が一番高いスケジュールが動作します。

(3) 設定する曜日を選択する

曜日選択部で，日曜日から土曜日の中からスケジュールを設定したい曜日をクリックして選択します。

(4) スケジュール内容を設定する

スケジュール内容欄の［設定］ボタンをクリックすると，スケジュール内容設定画面が表示されますので，スケジュール実行時刻，および運転内容（運転／停止，運転モード，設定温度，風向，風速，リモコン操作禁止設定）を設定し，[OK] ボタンをクリックします。

特定の運転内容だけ設定することにより，運転モードだけ，設定温度だけ等のスケジュール設定も可能です。

※[最適起動]を選択した場合，指定した時刻に目標温度に到達するよう，過去の運転データをもとにして指定時刻より５分～６０分前の最適な時刻に運転を開始します（電源リセット後の１回目は 30 分前に運転を開始します）。なお，[最適起動]を選択した場合は運転モード，設定温度も併せて設定してください。また，同時に手元リモコンの操作禁止項目を設定した場合，リモコンで操作が禁止されるのは指定時刻からとなります。

※［最適起動］は空調機・加熱加湿付ロスナイで使用可能です。

※全グループ／ブロック一括選択時は，自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが，設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上，スケジュール設定を行ってください。

※全グループ／ブロック一括選択時は，リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが，K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，全ての項目を［許可］にして設定してください。

※換気機器（ロスナイ）機種では，[24 時間換気]があります。

※換気機器（ロスナイ）機種では，換気モードがあります。

換気モードは，[普通換気][熱交換換気][自動換気]が設定可能です。

※換気機器の場合は，設定温度，風向は表示されません。風量は表示されます。また，リモコン操作禁止項目は[運転／停止]のみとなります。

※汎用機器は運転・停止のみ設定可能です。

※設定項目は，P17 を参照してください。

OK ボタン

空調機グループ

換気機器（ロスナイ）グループ

加熱加湿付ロスナイグループ

汎用機器グループ

(5) スケジュールを他の曜日，他のグループへコピーする

曜日間でスケジュール内容をコピーする場合は，［コピー(曜日)］をクリックして選択状態とし，他の曜日で［貼り付け］をクリックします。

グループ間で１週間分のスケジュール内容をコピーする場合は，［コピー(グループ)］をクリックして選択状態とし，他のグループを選択・表示してから［貼り付け］をクリックします。

※コピーした内容を違う機器に貼り付けることはできません。例えば，空調機でコピーした内容を換気機器に貼り付けることはできません。

※貼り付け可能な運転モード，設定温度範囲は機種により異なります。

(6) スケジュール内容を保存する

スケジュール内容を全て設定した後，［設定保存］ボタンをクリックしてスケジュール設定を保存します。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合，［元に戻す］ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

3-7-2 年間スケジュールを設定する

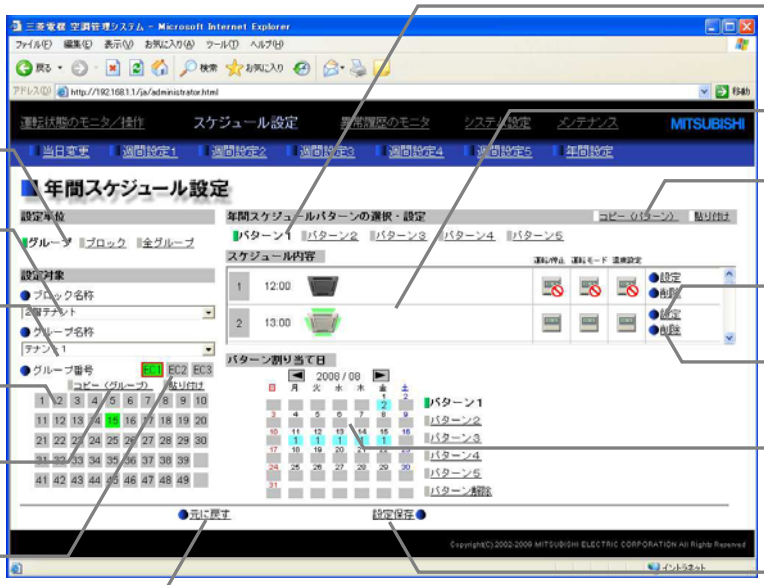
メニューの［スケジュール設定］をクリックし，サブメニューの［年間設定］をクリックすると年間スケジュールの設定画面が表示されます。年間スケジュールでは祝日や夏期休暇など，週間スケジュールに当てはまらない日のスケジュールを空調機グループごとに，24 ヶ月先（今月含む）までの範囲で 50 日間設定できます（設定保存時，前日以前に設定されていた年間スケジュールは自動的に削除されます）。

年間スケジュールを設定するには，まず設定する対象を選択し，スケジュールパターン（パターン 1～5）のスケジュール内容を設定した後で，祝日や夏期休暇などの日にパターンを割り当てます。

※スケジュールで実行された操作内容は，スケジュールまたはブラウザ等で変更されない限り継続しますので，その日限りのスケジュールを設定する場合は，翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の 17:00 以降をリモコン操作禁止にしたい場合は，17:00 に禁止，23:59 に許可を設定してください。

※操作画面でスケジュール無効としたグループは，スケジュール内容を設定できますが，年間スケジュールは動作しません。

※加熱加湿付ロスナイの場合，運転モードの位置に上段：運転モード・下段：換気モードが表示されます。又，風量の右横に加湿設定の状態が表示されます。



設定単位
設定する単位を選択します

ブロック名称
設定するブロックを選択します

グループ名称
設定するグループを選択します

グループ番号
設定するグループを選択します

コピー(ｸﾞﾙｰﾌﾟ)/貼り付け
グループ間でコピー／貼り付けを行います

拡張コントローラー系統選択部
設定する系統を選択します

元に戻すボタン
変更した内容を元に戻します

パターンの選択
スケジュールを設定するパターンを選択します

スケジュール内容
スケジュール内容を表示します

コピー(ﾊﾟﾀｰﾝ)/貼り付け
各パターン間でコピー／貼り付けを行います

設定ボタン
スケジュール内容を設定します

削除ボタン
スケジュール内容を削除します

カレンダー部
パターンを特定の日に割り当てます

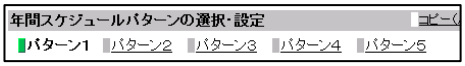
設定保存ボタン
スケジュール内容を保存します。このボタンを押さないと設定は保存されません。

(1) スケジュールを設定する対象を選択する

週間スケジュールと同様にして設定する対象を選択します。（3-7-1 参照）

(2) 設定するスケジュールパターンを選択する

画面右上のパターン選択部で，パターン１からパターン５の中からスケジュール内容を設定したいパターンをクリックして選択します。（パターンを変更しない場合は(2)(3)の作業は必要ありません）



(3) スケジュール内容を設定する

スケジュール内容欄の［設定］ボタンをクリックすると，スケジュール内容設定画面が表示されますので，スケジュール実行時刻，および運転内容（運転／停止，運転モード，設定温度，風向，風速，リモコン操作禁止設定）を設定し，[OK] ボタンをクリックします。

特定の運転内容だけ設定することにより，運転モードだけ，設定温度だけ等のスケジュール設定も可能です。

※[最適起動]を選択した場合，指定した時刻に目標温度に到達するよう，過去の運転データをもとにして指定時刻より５分～60 分前の最適な時刻に運転を開始します（電源リセット後の１回目は 30 分前に運転を開始します）。なお，[最適起動]を選択した場合は運転モード，設定温度も併せて設定してください。また，同時に手元リモコンの操作禁止項目を設定した場合，リモコンで操作が禁止されるのは指定時刻からとなります。

OK ボタン

※［最適起動］は空調機・加熱加湿付ロスナイで使用可能です。

※全グループ／ブロック一括選択時は，自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが，設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上，スケジュール設定を行ってください。

※全グループ／ブロック一括選択時は，リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが，K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，全ての項目を［許可］にして設定してください。

※換気機器（ロスナイ）機種では，[24 時間換気]があります。

※換気機器（ロスナイ）機種では，換気モードがあります。

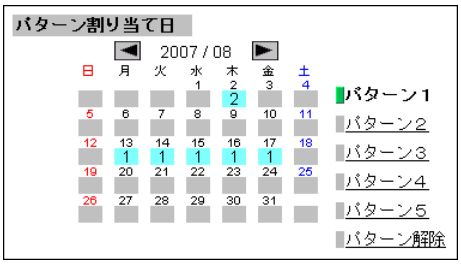
換気モードは，[普通換気][熱交換換気][自動換気]が設定可能です。

※換気機器の場合は，設定温度，風向は表示されません。風量は表示されます。また，リモコン操作禁止項目は[運転／停止]のみとなります。

※汎用機器は運転・停止のみ設定可能です。

※年間スケジュール設定の設定項目は，週間スケジュール設定と同じです。（3-7-1 (4) 参照）設定項目は，P17 を参照してください。

(4) パターン割り当て日を設定する

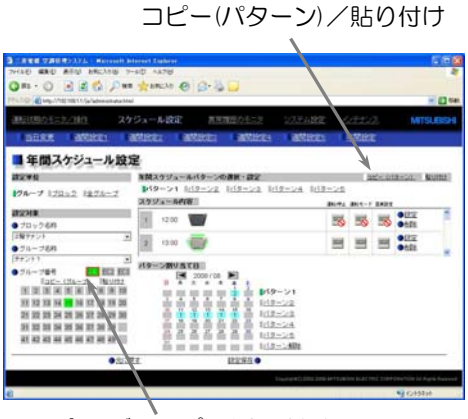


設定したスケジュールパターンを，祝日や夏期休暇など，週間スケジュールに当てはまらない日に割り当てます。

パターンを割り当てるには，まず割り当てたいパターンをクリックして選択し，カレンダーの日付欄をクリックすると，日付欄に選択したパターン番号が表示されます。

一度設定したパターンを解除したい場合は［パターン解除］を選択し，日付欄をクリックします。

(5) スケジュールを他のパターン，他のグループへコピーする



パターン間でスケジュール内容をコピーする場合は，［コピー(パターン)］をクリックして選択状態とし，他のパターンで［貼り付け］をクリックします。

グループ間で全パターンのスケジュール内容およびパターン割当日をコピーする場合は，［コピー(グループ)］をクリックして選択状態とし，他のグループを選択・表示してから［貼り付け］をクリックします。

※コピーした内容を違う機器に貼り付けることはできません。例えば，空調機でコピーした内容を換気機器に貼り付けることはできません。

※貼り付け可能な運転モード，設定温度範囲は機種により異なります。

(6) スケジュール内容を保存する

スケジュール内容を全て設定した後，［設定保存］ボタンをクリックしてスケジュール設定を保存します。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合，［元に戻す］ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

3-7-3 当日スケジュールを変更する

メニューの［スケジュール設定］をクリックするか，サブメニューの［当日変更］をクリックすると当日スケジュールの設定画面が表示されます。当日スケジュールでは，週間・年間スケジュールを変更せずに当日のみ有効なスケジュールを設定することができます。

当日スケジュールを設定するには，まず設定する対象を選択し，スケジュール内容を設定します。

※スケジュールで実行された操作内容は，スケジュールまたはブラウザ等で変更されない限り継続しますので，その日限りのスケジュールを設定する場合は，翌日に影響が出ないような設定を行ってください。例えばスケジュール設定日の 17:00 以降をリモコン操作禁止にしたい場合は，17:00 に禁止，23:59 に許可を設定してください。

※操作画面でスケジュール無効としたグループは，スケジュール内容を設定できますが，当日スケジュールは動作しません。

※加熱加湿付ロスナイの場合，運転モードの位置に上段：運転モード・下段：換気モードが表示されます。又，風量の右横に加湿設定の状態が表示されます。

設定単位
設定する単位を選択します

ブロック名称
設定するブロックを選択します

グループ名称
設定するグループを選択します

グループ番号
設定するグループを選択します

コピー(ｸﾞﾙｰﾌﾟ)/貼り付け
グループ間でコピー／貼り付けを行います

拡張コントローラー系統選択部
設定する系統を選択します

元に戻すボタン
変更した内容を元に戻します

スケジュール内容
スケジュール内容を表示します

設定ボタン
スケジュール内容を設定します

削除ボタン
スケジュール内容を削除します

設定保存ボタン
スケジュール内容を保存します。このボタンを押さないと設定は保存されません。

(1) スケジュールを設定する対象を選択する

週間スケジュールと同様にして設定する対象を選択します。（3-7-1 参照）

(2) スケジュール内容を設定する

スケジュール内容欄の［設定］ボタンをクリックすると，スケジュール内容設定画面が表示されますので，スケジュール実行時刻，および運転内容（運転／停止，運転モード，設定温度，風向，風速，リモコン操作禁止設定）を設定し，［OK］ボタンをクリックします。

特定の運転内容だけ設定することにより，運転モードだけ，設定温度だけ等のスケジュール設定も可能です。

OK ボタン

※[最適起動]を選択した場合，指定した時刻に目標温度に到達するよう，過去の運転データをもとにして指定時刻より５分～60 分前の最適な時刻に運転を開始します(電源リセット後の１回目は 30 分前に運転を開始します）。なお，[最適起動]を選択した場合は運転モード，設定温度も併せて設定してください。また，同時に手元リモコンの操作禁止項目を設定した場合，リモコンで操作が禁止されるのは指定時刻からとなります。

※［最適起動］は空調機・加熱加湿付ロスナイで使用可能です。

※全グループ／ブロック一括選択時は，自動モードなどの運転モードが全て設定できるようになりますが，設定した空調機にその機能が無い場合には指定されたモードでは動作しません。設定の際は空調機の機能を考慮の上，スケジュール設定を行ってください。

※全グループ／ブロック一括選択時は，リモコン操作禁止項目が個別に選択可能となりますが，K制御機種のリモコン操作を許可したい場合は，全ての項目を［許可］にして設定してください。

※換気機器（ロスナイ）機種では，[24 時間換気]があります。

※換気機器（ロスナイ）機種では，換気モードがあります。

換気モードは，[普通換気][熱交換換気][自動換気]が設定可能です。

※換気機器の場合は，設定温度，風向は表示されません。風量は表示されます。また，リモコン操作禁止項目は［運転／停止］のみとなります。

※汎用機器は運転・停止のみ設定可能です。

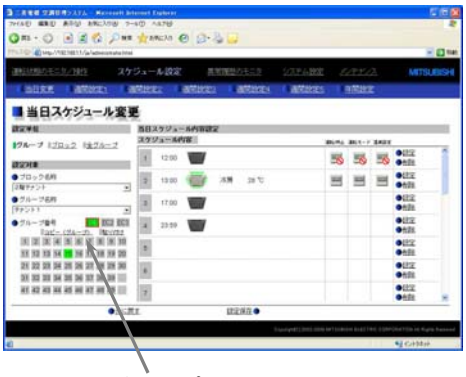
※当日スケジュール変更の設定項目は，週間スケジュール設定と同じです。（3-7-1 (4) 参照）設定項目は，P17 を参照してください。

(3) スケジュールを他のグループへコピーする

グループ間で当日のスケジュール内容をコピーする場合は，［コピー(グループ)］をクリックして選択状態とし，他のグループを選択してから［貼り付け］をクリックします。

※コピーした内容を違う機器に貼り付けることはできません。例えば，空調機でコピーした内容を換気機器に貼り付けることはできません。

※貼り付け可能な運転モード，設定温度範囲は機種により異なります。

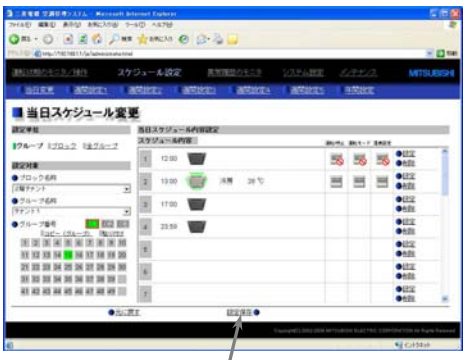


コピー(グループ)／貼り付け

(4) スケジュール内容を保存する

スケジュール内容を全て設定した後，［設定保存］ボタンをクリックしてスケジュール設定を保存します。

前回保存時からスケジュール設定内容を変更した場合，［元に戻す］ボタンをクリックすると前回保存時の設定状態に戻すことができます。

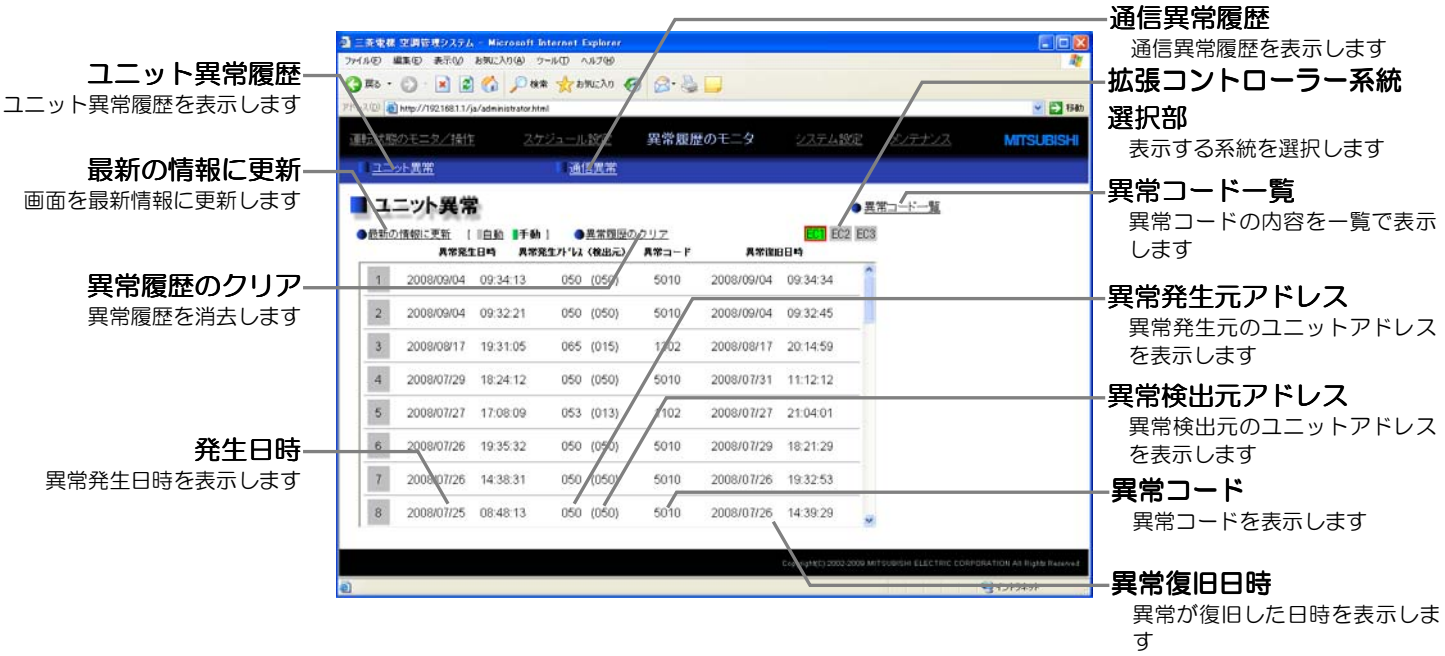


設定保存ボタン

3-8 異常履歴を確認する

メニューの［異常履歴のモニタ］をクリックすると，ユニット異常の履歴（最新の 64 件）が表示されます。
サブメニューの［通信異常］をクリックすると， M-NET 通信異常の履歴（最新の 64 件）が表示されます。

※拡張コントローラーが接続されている場合は，各拡張コントローラーの系統（EC1/EC2/EC3）ごとに最新の６４件が表示されます。



項　目	内　容
ユニット異常履歴	[ユニット異常]をクリックするとユニット異常履歴が表示されます。
通信異常履歴	[通信異常]をクリックすると M-NET 通信異常履歴が表示されます。
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
拡張コントローラー系統選択部	拡張コントローラー系統を選択することにより，指定系統内の異常履歴が表示されます。 ※拡張コントローラー（PAC-YG50EC）が接続されていない場合は，拡張コントローラー系統選択部は表示されません。
異常履歴のクリア	[異常履歴のクリア]をクリックすると，表示されている異常履歴が消去されます。 ※拡張コントローラー接続時は，選択されている拡張コントローラー系統の履歴をクリアします。
異常コード一覧	異常コードの内容を一覧で表示します。 異常コード一覧 - Microsoft Internet Explorer 6607 通信異常 ACK無返送エラー 6608 通信異常 応答フレーム無返送エラー 6609 通信異常 6610 通信異常 6700 通信異常 K伝送異常一括 6701 通信異常 K伝送エラー 6702 通信異常 Kアドレス二重定義エラー 6750 通信異常 K異常コード PO 6751 K異常 吸い込みセンサ異常 6752 K異常 配管センサ異常 凝縮温度検出センサ異常 6753 K異常 送受信エラー 6754 K異常 ドレンセンサ異常 フロートスイッチ作動 6755 K異常 ドレンポンプ異常 閉じる
発生日時	異常発生日時が表示されます。
異常発生元アドレス	異常が発生したユニットのアドレスが表示されます。
異常検出元アドレス	異常を検出したユニットのアドレスが表示されます。
異常コード	異常コードが表示されます。
異常復旧日時	異常が復旧した日時を表示します。

3-9 現在日時を設定する

メニューの［システム設定］をクリックすると，現在日時の設定画面が表示されます。現在日時入力後，設定保存ボタンを押して現在日時を設定してください。

※スケジュール運転を行っている場合に現在日時を進めると，飛ばされた時刻のスケジュールは実行されませんのでご注意ください。

※この画面で時刻設定を行うと，M-NET 上の他のユニット，拡張コントローラー（PAC-YG50EC），時刻マスタ設定がサブに設定された G-150AD にも時刻が設定されます。（設定されないユニットもあります。）

※電力按分課金支援機能を利用しているときに現在日時を変更すると，空調料金の集計結果に影響が出る場合があります。

※時刻マスタ設定がサブ設定されている場合は設定操作ができません。

※TG-2000 が接続されているシステムの場合，TG-2000 から設定を行ってください。

お願い	拡張コントローラー（PAC-YG50EC）接続時の場合，日時設定は拡張コントローラーを G-150AD と正常に接続されている状態で行ってください。 拡張コントローラーと正常に接続されていない状態で設定した場合，その拡張コントローラーに日時は設定されません。

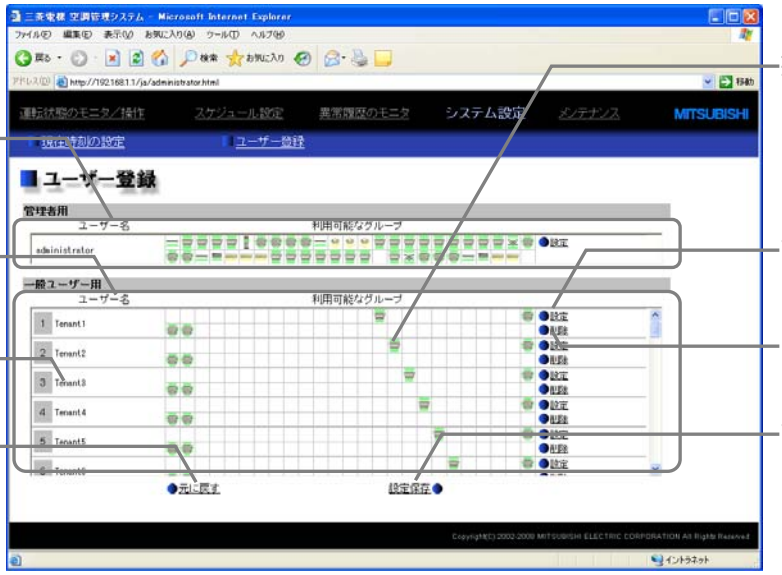
項　目	内　容
現在日時	現在の日時を入力します。
設定保存ボタン	[設定保存]ボタンをクリックすると，現在日時が設定されます。

3-10 ユーザーを登録する

メニューの［システム設定］をクリックし，［ユーザー登録］をクリックするとユーザー登録画面が表示されます。

G-150AD にログインするためのユーザー名，パスワードを追加，変更したいとき，および，一般ユーザーが操作可能なグループを登録したい場合にご利用ください。操作可能なグループを指定しておくと，一般ユーザーがログインしたとき，指定されたグループのみ，表示・操作可能となります。

※管理者用ユーザー：[../administrator.html]からログインするユーザー
一般ユーザー　　：[../index.html]からログインするユーザー（ユーザー登録したグループの監視・操作のみ可能）



管理者用ユーザー情報
管理者のユーザー名と利用可能なグループが表示されます

一般ユーザー情報
一般ユーザーのユーザー名と利用可能なグループが表示されます

ユーザー名
ユーザー名が表示されます

元に戻すボタン
変更した内容を元に戻します

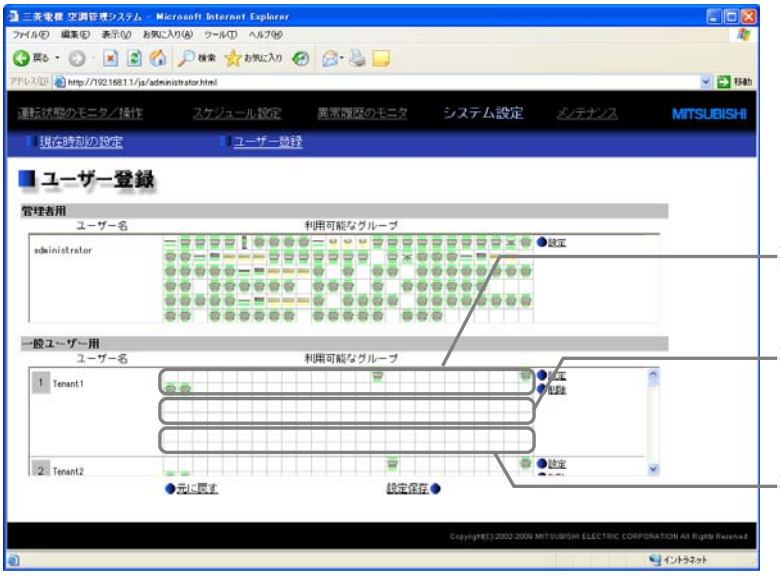
操作可能なグループ
操作可能なグループを表示します。アイコンにカーソルを合わせるとグループ名が表示されます

設定ボタン
ユーザー情報を設定します

削除ボタン
ユーザー情報を削除します

設定保存ボタン
ユーザー情報を保存します。このボタンを押さないと設定は保存されません。

拡張コントローラー（PAC-YG50EC）が接続されている場合は，管理者ユーザー情報部，一般ユーザー情報部が 150 グループ分の表示となります（下図）。



拡張コントローラー系統１
拡張コントローラー１系統目のグループを選択します

拡張コントローラー系統２
拡張コントローラー２系統目のグループを選択します

拡張コントローラー系統３
拡張コントローラー３系統目のグループを選択します

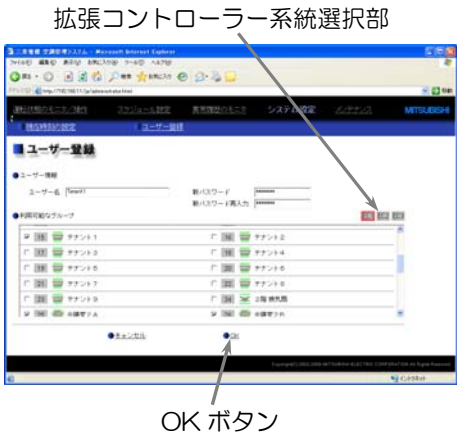
(1) ユーザー情報を作成・変更する

ユーザー情報欄の［設定］ボタンをクリックすると，ユーザー情報設定画面が表示されますので，ユーザー名，パスワードを入力し，操作可能なグループを選択して，［OK］ボタンをクリックします。

※一般ユーザーがログインしたとき，ここで指定したグループのみ操作可能となります。

※管理者用ユーザーは常に全グループが操作可能であるため，操作可能なグループを選択することはできません。

※拡張コントローラーが接続されている場合は［拡張コントローラー系統選択部］が表示されますので，グループ番号を選択する場合は拡張コントローラーの系統（EC1/EC2/EC3）を選択後，グループを選択してください。



(2) ユーザー情報を保存する

ユーザー情報の設定が完了したら，［設定保存］ボタンをクリックしてユーザー情報を保存します。

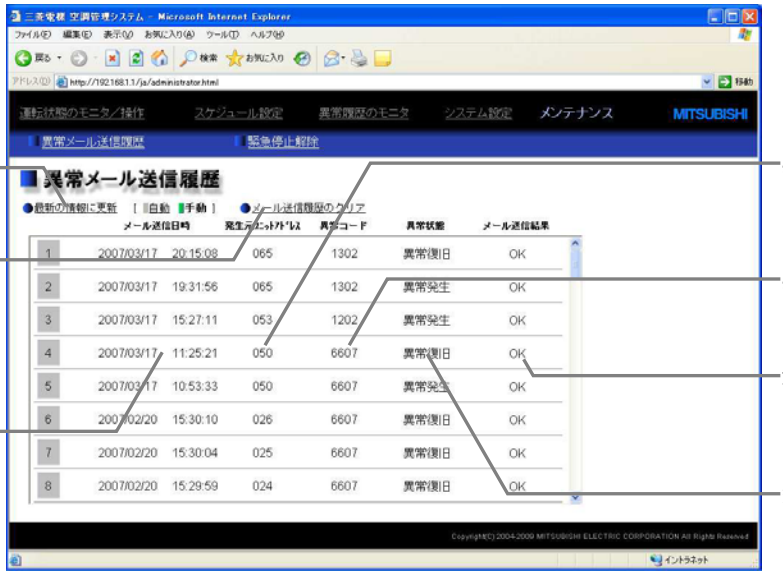
前回保存時の設定状態に戻したい場合は，［元に戻す］ボタンをクリックします。

※ユーザー情報変更後，［設定保存］を行わずに他のページへ移動してしまった場合，変更した内容は反映されません。必ず［設定保存］を行ってください。

3-11 異常通報メールの送信履歴を確認する

メニューの［メンテナンス］をクリックすると，異常発生時および異常復旧時に送信したメールの送信履歴が表示されます。

なお，異常発生時にメールを送信させるためには，初期設定ブラウザにて発報先メールアドレスやメールサーバ情報等を設定する必要があります。



最新の情報に更新
画面を最新情報に更新します

履歴クリア
メール送信履歴を消去します

送信日時
メール送信日時を表示します

異常発生元アドレス
異常発生元のユニットアドレスを表示します

異常コード
異常コードを表示します

送信結果
送信結果を OK/NG で表示します

発生／復旧
異常の発生／復旧の区分を表示します

項　目	内　容
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。 [自動]を選択すると，１分間隔で，自動的に最新の情報に更新されます。
履歴クリア	[メール送信履歴のクリア]をクリックすると，異常メール送信履歴が消去されます。
送信日時	メール送信日時が表示されます。
異常発生元アドレス	異常が発生したユニットのアドレスが表示されます。 ※PLC に接続された汎用機器の異常が発生した場合は，汎用制御 PLC の番号（初期設定 Web で PLC の異常メールを設定した時の行番号 1～20）と汎用機器番号（汎用制御 PLC が管理している最大 32 台までの汎用機器の番号）が表示されます。（例：PLC1-32） ※汎用インターフェース（PAC-YG66DC）に接続された汎用機器の異常が発生した場合は，汎用インターフェースのアドレスが表示されます（汎用インターフェースに接続されたいずれかの汎用機器の異常が発生したことが分かります） ※拡張コントローラー（PAC-YG50EC）を接続している場合は，拡張コントローラー系統（1～3）と M-NET アドレス（000～250）が表示されます。（例：1-053）
異常コード	異常コードが表示されます。
発生／復旧	異常の発生／復旧の区分が表示されます。
送信結果	メールの送信結果が OK または NG で表示されます。

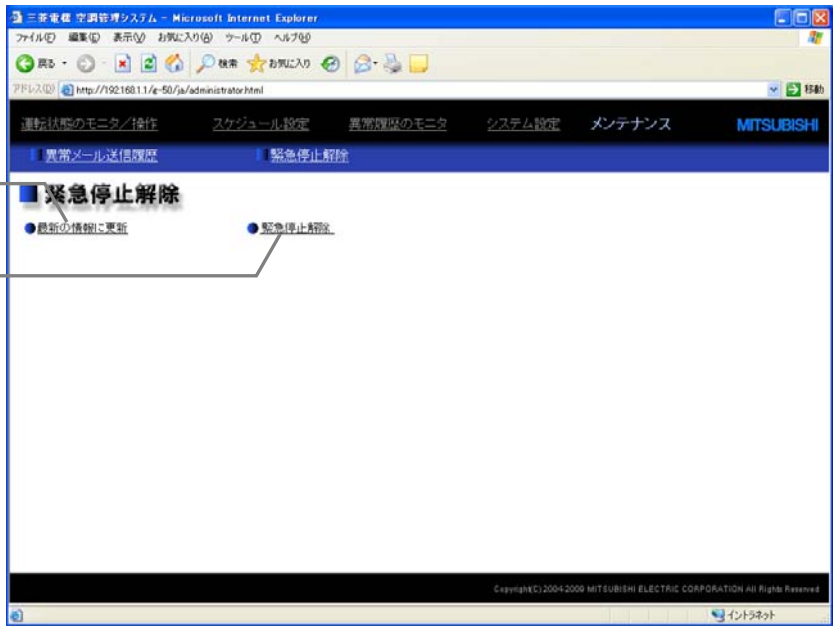
3-12 緊急停止を解除する

メニューの［メンテナンス］をクリックし，［緊急停止解除］をクリックすると緊急停止解除画面が表示されます。

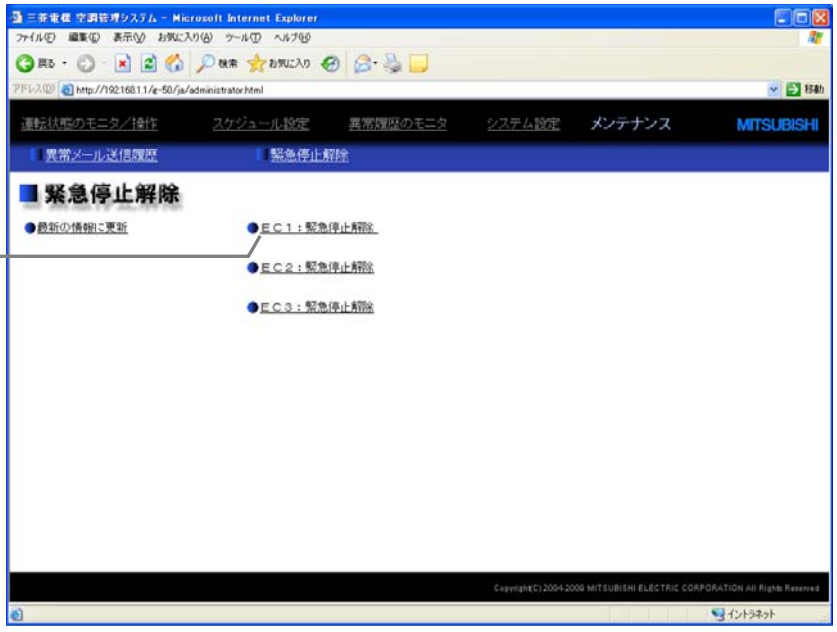
緊急停止解除画面は，G-150AD の外部入力の設定を「緊急停止　復元モード（レベル入力）」で使用する場合に上位機器（Facima　BA　System）から緊急停止解除ができない状態のときに，管理者が緊急停止を解除するための画面です。

最新の情報に更新
画面を最新情報に更新します

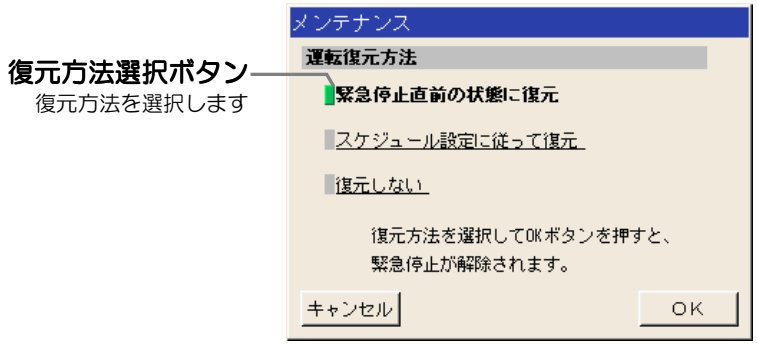
緊急停止解除（EC なし）
緊急停止を解除します



緊急停止解除（EC あり）
緊急停止を解除します



項　目	内　容
最新の情報に更新	[最新の情報に更新]をクリックすると，画面が最新の情報に更新されます。
緊急停止解除	[緊急停止解除]をクリックすると，復元方法の選択画面が表示されます。 ※[緊急停止解除]は外部入力を緊急停止　復元モード（レベル入力）に設定し、かつ解除待ちの状態の時のみ表示されます。 ※EC を使用している場合，[緊急停止解除]の前に[EC1：]，[EC2：]，[EC3：]が付きます。 ※EC を使用している場合，いずれか 1 台の EC が解除待ちのとき，この画面が表示されます。



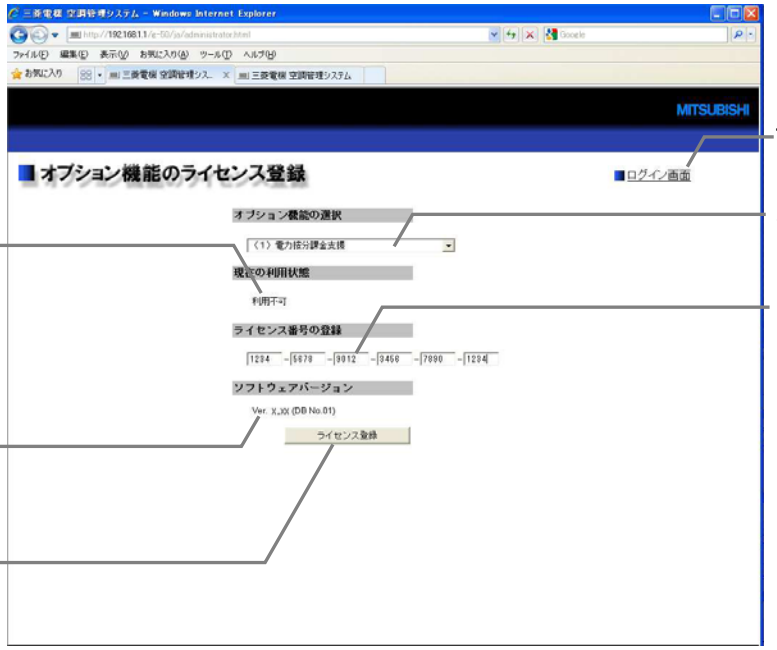
項　目	内　容
復元方法選択ボタン	復元方法を選択して[OK]をクリックすると，緊急停止が解除されます。 [緊急停止直前の状態に復元]　：運転／停止（／24 時間換気）を緊急停止直前の状態に復元する。 [スケジュール設定に従って復元]：緊急停止中に実行されたスケジュールによる運転／停止（/24 時間換気）に従い復元する。 （緊急停止中にスケジュール実行がなかった場合は緊急停止直前の状態に復元する。） [復元しない]　：運転／停止（／24 時間換気）の復元を行わない。

4 オプション機能のライセンス登録

ここでは，オプション機能のライセンス登録方法について説明します。ログイン画面（3-1 参照）にて，［オプション機能のライセンス登録］をクリックすると，オプション機能のライセンス登録画面が表示されます。

オプション機能の内容およびライセンス番号の購入方法は，お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※拡張コントローラーを接続して G-150AD を複数接続する場合，そのオプション機能を使用する G-150AD にのみライセンス登録が必要になります。



サブメニュー
ログイン画面に戻ります

オプション機能選択欄
ライセンス登録するオプション機能の種類を選択します

ライセンス番号入力欄
登録するライセンス番号を入力します

現在の利用状態
オプション機能の利用状態が表示されます
期限があるライセンスの場合は残り日数も表示されます

ソフトウェアバージョン
ソフトウェアバージョンが表示されます

ライセンス登録ボタン
ライセンスを登録します

（1）オプション機能のライセンス登録画面を開く

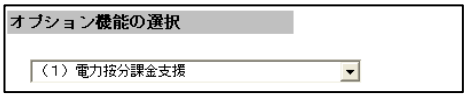
Web ブラウザのアドレス欄に Web ページアドレスを入力し，キーボードの[Enter]（リターン）キーを押すと，ログイン画面が表示されます（3-1 参照）。

この画面で［オプション機能のライセンス登録］をクリックすると，オプション機能のライセンス登録画面が開きます

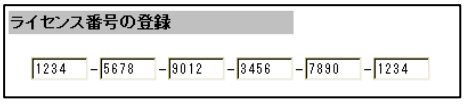
オプション機能のライセンス登録

（2）オプション機能のライセンス登録を行う

オプション機能のライセンス登録画面のオプション機能選択欄から，ライセンス登録したい機能を選択します。機能を選択すると現在の利用状態が表示されます。



次に，購入したライセンス番号を入力し，［ライセンス登録］ボタンをクリックすると，ライセンスが登録されオプション機能が利用できるようになります。



正常に登録できない場合は，ライセンス番号が間違えていないか，ライセンス登録するオプション機能を正しく選択しているか，また，現在日時が正しく設定されているかを確認してください。

※ライセンス番号にはアルファベットの「O」と「I」は使用していません。

※ライセンス登録を行ったあと，必ず登録したライセンスの利用状態が「利用可能」と表示されていることを確認して下さい。

三菱電機株式会社
冷熱システム製作所　〒 640-8686 和歌山市手平 6-5-66 (073)436-2111

WT05487X13